

平成 30 年度

事 業 年 報

日本赤十字社青森県支部

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

赤十字基本原則

(1965年ウィーンで開催された第20回赤十字国際会議において採択)

人道 赤十字は、戦場において差別なく負傷者に救護を与えたいという願いから生まれ、あらゆる状況下において人間の苦痛を予防し軽減することに、国際的及び国内的に努力する。その目的は生命と健康を守り、人間を尊重することを確保することにある。赤十字はすべての国民間の相互理解、友情、協力及び堅固な平和を助長する。

公平 赤十字は国籍、人種、宗教、社会的地位または政治上の意見によるいかなる差別をもしない。赤十字はただ苦痛の度合いに従って個人を救うことに努め、その場合、最も急を要する困苦の場合を優先的に取り扱う。

中立 すべての人からいつも信頼を受けるために、赤十字は戦闘行為の時、いずれの側にも加わることを控え、いかなる場合にも、政治的、人種的、宗教または思想的性格の闘争には参加しない。

独立 赤十字は独立である。各国赤十字社は、その国の政府の人道的事業の補助者であり、その国の法律に従うが、常に赤十字の諸原則に従って行動できるよう、その自主性を保たなければならない。

奉仕 赤十字は利益を求める奉仕的救護組織である。

単一 いかなる国にもただ一つの赤十字社しかあり得ない。赤十字社はすべての人に門戸を開き、その国の全領土にわたって人道的事業を行わなければならない。

世界性 赤十字は世界的機構であり、その中においてすべての赤十字社は同等の権利を持ち、相互援助の義務を持つ。

はじめに

赤十字事業の推進につきましては、日頃から県民の皆様並びに地区・分区をはじめとする関係者の皆様の深いご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございます。

さて、昨年度、当支部においては、明治20年の前身の青森県委員部設立から130年を迎えたことから、9月12日に、日本赤十字社名誉副総裁 秋篠宮妃殿下のご臨席を賜り、青森県赤十字大会を開催いたしました。大会では、赤十字活動にご尽力いただいた方々に有功章や社長感謝状が授与され、秋篠宮妃殿下から県内の赤十字関係者に温かいお励ましのお言葉を賜りましたが、長い間、赤十字活動を支えて下さった方々に感謝申し上げ、更なる活動の推進に思いを新たにいたしました。

国内外においては、地震、大雨、台風等の自然災害が猛威を振るった年でもありました。大阪府北部地震、7月豪雨、台風21号、さらには北海道胆振東部地震と大規模災害が次々と発生しました。

このような中、日本赤十字社では、「人間の命と健康、尊厳を守る」という赤十字の使命のもと、これらの災害発生時には全社をあげて救護活動を行ってきました。とりわけ、北海道胆振東部地震においては、当支部もいち早く救護班を派遣するとともに、その後も、こころのケア班、災害対策本部要員の派遣、救援物資の提供などを行ったところです。

当支部としては、今後とも人が人を思いやる人道・博愛の精神の下、支部、病院、血液センター、社会福祉施設が有する資源と機能を最大限に活用しながら、社会のニーズに即し、赤十字の特色を活かした活動を積極的に展開し、多くの皆様から赤十字活動へのご賛同とご協力が得られるよう努めて参りますので、関係者の皆様におかれましては、更なるご理解とご協力を何とぞよろしくお願い申し上げます。

日本赤十字社青森県支部

目 次

卷頭言

I 赤十字事業

1. 災害救護事業	1
2. 看護師養成事業	11
3. 救急法、健康生活支援講習等の講習普及事業	12
4. 赤十字奉仕団	14
5. 青少年赤十字	21
6. 国際活動	31
7. 社会福祉事業	33
8. 医療事業	35
9. 血液事業	37

II 活動資金の募集と赤十字思想の普及

10. 活動資金の募集状況並びに会員（社員）の現況	42
11. 赤十字思想の普及と広報活動	50
12. 青森県赤十字有功会	54

III 評議員会及び決算等

13. 評議員会及び監査	56
14. 平成30年度一般会計・特別会計決算報告	58
15. 支部役員・評議員	61

赤十字の組織と機構	62
日本赤十字社青森県支部現勢	63

1. 災害救護事業

災害救護活動は、赤十字本来の使命に基づく活動であるばかりでなく、日本赤十字社には災害救助法や災害対策基本法等で国及び地方自治体の防災・救助業務への協力が義務付けられている。常に災害に備えて救護員を養成し、訓練、研修を重ねている。そのほか救護資材を整備し救護体制を万全にするよう努めている。

なお、平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震について、医療救護班（八戸赤十字病院）とこころのケア班（支部・八戸赤十字病院）を勇払郡厚真町に派遣したほか、災害対策本部支援要員（支部）を日本赤十字社北海道支部（札幌市）へ派遣した。また、救援物資（緊急セット）を提供したほか、義援金の募集受付を行った。

（1）救護業務

① 災害に対する救援物資等の交付

県内で発生の火災（火炎災害）、水害等の被災者に対して、見舞い品として毛布や緊急セットを交付基準に基づき交付している。

また、県内で発生した災害により死亡した県内在住の被災者には香花料を交付している。

② 災害救援物資交付状況

品 名	数 量
毛 布	185
緊急 セット	90

（救援物資の市町村別交付状況は、6、7ページ参照）

（2）国内災害義援金受付状況

区 分	件 数	金 額 (円)
東日本大震災義援金	43	707,525
平成28年熊本地震災害義援金	22	119,089
平成29年7月5日からの大雨災害義援金	13	78,559
平成30年大阪府北部地震災害義援金	42	476,871
平成30年米原市竜巻災害義援金	23	201,046
平成30年7月豪雨災害義援金	317	14,989,697
平成30年北海道胆振東部地震災害義援金	154	2,915,967
合 計	614	19,488,754

(3) 災害救護の体制及び救護班の訓練・研修

① 救護班の常備組織

災害が発生した場合、その規模に応じて災害地に救護班を派遣して被災者の医療救護にあたる。

当支部では、八戸赤十字病院に7個班及び支部、はまなす医療療育センター、血液センター混合で1個班、計8個班を編成している。

救護班1個班の編成基準と平成30年度の要員確保状況は次のとおりである。

職種 区分	医師 (班長) (人)	看護師長 (人)	看護師 (人)	主事 (人)	薬剤師 (人)	計 (人)
1個班の編成基準	1	1	2	2		6
常備要員	8	8	16	17	7	56

※八戸赤十字病院編成7個班中、第1～7班までは編成基準6人に薬剤師等を加え7人編成としている。

② 各種訓練への参加状況

医療救護班等の訓練のため、次のとおり各種災害救護訓練へ参加した。

訓練名称	場所
青森県総合防災訓練	平川市
青森県原子力防災訓練	六ヶ所村
青森県SCU設置運営訓練	青森市
青森県災害対策本部図上訓練	青森市
青森県保健医療調整本部図上訓練	青森市
東北ブロックDMA T参集訓練	秋田市

※日赤第1ブロック支部合同災害救護訓練は、北海道胆振東部地震の救護のため中止された。

③ 赤十字救護班に対する研修の実施

近年、救護をめぐる概念や、方法論はめまぐるしく変化しており、特に災害発生直後に救出活動と連携して行われる医療活動であるDMA T活動については、日本赤十字社においても、DMA Tチームを養成し、これに取り組んでいるところである。

当支部においても、八戸赤十字病院が青森県よりDMA T指定医療機関としての指定を受け、DMA Tチーム3チームを保有している。

また、当支部では、現場でDMA Tチームと協働することを想定して、救護班養成のための研修・訓練カリキュラム（SPDT：Small Packaged Disaster Training）に基づく研修及び指導者養成研修を実施している。

平成30年度 基礎研修 受講者 13名 ／ 中級研修 受講者 8名

(4) 災害救護装備について

① 県内市町村における救護装備

- ・天幕、担架、移動炊飯器の配置

当支部では災害に備え、県内各地区・分区に天幕等を配置し、災害時には赤十字地域奉仕団が迅速に炊き出し等を実施できるようにしている。

平成30年度の天幕、担架、移動炊飯器の使用状況は次のとおりである。

装備品名	使用回数	主たる使用状況
天幕	74	献血PR、奉仕団研修会、防災訓練
担架	6	防災訓練
移動炊飯器	98	奉仕団研修会、防災訓練

(天幕等の使用状況は6、7ページ参照)

・赤十字救援車「博愛号」の配置

当支部では赤十字の理念とする「人道・博愛」の心を赤十字活動を通じて広く県民に浸透を図り、市町村において地域住民の安全と健康の保持増進、福祉の向上を目的として赤十字救援車両「博愛号」を県内市町村に配置している。

平成30年度の配置事業の概要は以下のとおりである。

◎車両配置先及び配置月日

五所川原市 7月30日

田舎館村 7月23日

鶴田町 7月23日

横浜町 7月20日

◎配置車両 日産 セレナ 4WD／2000cc／8人乗

(「博愛号」の使用状況は8、9ページ参照)



写真は横浜町での配置式の様子

(5) 北海道胆振東部地震災害に対する青森県支部の対応

【地震の概要】

- 1) 発生日時 平成30年9月6日 3時7分
- 2) 震央地名 胆振地方中東部
- 3) 震源の深さ 37km (暫定値)
- 4) 規模マグニチュード 6.7 (暫定値)
- 5) 各地の震度 (震度5弱以上)
 - 震度7 厚真町
 - 震度6強 安平町、むかわ町
 - 震度6弱 札幌市東区、千歳市、日高町、平取町
 - 震度5強 札幌市清田区、白石区、手稲区、北区、苫小牧市、江別市、三笠市、恵庭市、長沼町、新ひだか町、新冠町
 - 震度5弱 札幌市厚別区、豊平区、西区、函館市、室蘭市、岩見沢市、登別市、伊達市、北広島市、石狩市、新篠津村、南幌町、由仁町、栗山町、白老町

【救護班の活動等】

1) 医療救護班の派遣

派遣した救護班は、管内施設 八戸赤十字病院の医師1名、看護師2名、主事2名、薬剤師1名の計6名である。発災当日には北海道函館市に移動し、翌9月7日には厚真町日赤北海道支部現地災害対策本部へ到着し、主に厚真町内において救護活動を展開した。

○派遣概要は次のとおり

- 9月6日（木）1個班（八戸赤十字病院）を厚真町へ派遣
- 9月7日（金）厚真町総合福祉センター着（日赤現地災害対策本部）
- 9月8日（土）救護活動
- 9月9日（日）〃
- 9月10日（月）〃 ⇒引継ぎ ⇒ 苫小牧発
- 9月11日（火）八戸赤十字病院帰着



2) こころのケア班の派遣

派遣したこころのケア班は八戸赤十字病院の看護師3名（こころのケア要員）、支部職員1名（ロジスティック要員1名）の計4名である。9月19日に現地入りし、厚真町内の各避難所を巡回し、こころのケア活動を展開した。

○派遣概要は次のとおり

9月19日（水）青森発

9月20日（木）こころのケア活動（厚真町総合福祉センター）

9月21日（金）　　〃

9月22日（土）　　〃

9月23日（日）　　〃　　⇒引継ぎ⇒八戸赤十字病院帰着



こころのケア班のミーティングの様子



厚真町内避難所の様子

3) 被災地支部（日赤北海道支部）への支援

日赤北海道支部災害対策本部支援のため、支部職員1名を派遣した。

○派遣概要は次のとおり

9月16日（日）日赤北海道支部着

（）日赤北海道支部災害対策本部及び厚真町内現地災害対策本部を支援

9月24日（月）日赤青森県支部帰着

4) 救援物資の供出

日赤北海道支部災害対策本部からの要請により、9月9日（日）に安眠セット200セット（避難所用マット、アイマスク等のセット）を送り、安平町にて配布された。

平成30年度 災害救援物資の交付状況及び天幕等の使用状況表

区分 市町村名	災害件数・災害種別				救援物資交付数			天幕等使用状況				備考	
	り災 世帯数	被災 者数	火災		風水害	毛布	緊急 セット	香花料 (円)	天幕	担架	寝台		
			全焼	半焼									
市	青森市												
	青森市	5	13	1	4	0	9	5	5,000	0	0	0	3
	青森市浪岡	1	1	1	0	0	1	1		0	0	-	2
	弘前市	11	34	10	1	0	31	14	20,000	0	0	0	3
	八戸市	9	21	4	5	0	14	8	35,000	-	-	-	5 炊飯器2器
	黒石市	5	6	5	0	0	5	4	5,000	0	0	0	3
	五所川原市												
	五所川原市	10	23	8	2	0	19	10	20,000	1	-	-	2
	五所川原市金木									1	-	-	1
	五所川原市市浦									2	-	-	3
	十和田市	3	9	2	1	0	9	4	0	3	-	-	2
	三沢市	1	2	1	0	0	1	1	0	2	-	-	2
	むつ市												
	むつ市	4	11	2	2	0	9	4	10,000	1	-	-	0
	むつ市川内	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0
	むつ市大畠	1	4	1	0	0	4	1		0	0	0	1
	むつ市脇野沢	1	1	1	0	0	1	1		1	0	0	0
	つがる市	8	20	8	0	0	20	8	0	3	-	-	6
	平川市	0	0	0	0	0	0	0	0	7	-	-	4
市計		59	145	44	15	0	123	61	95,000	21	0	0	37
東地区	平内町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外ヶ浜町	2	5	2	0	0	5	2	0	0	-	-	4 炊飯器3器
	今別町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0
	蓬田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	2
西地区	鰺ヶ沢町	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	1
	深浦町	1	1	1	0	0	0	0	5,000	2	-	-	2
中地区	西目屋村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	板柳町	1	3	1	0	0	3	1	0	10	0	0	0
南地区	藤崎町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	大鰐町	1	2	1	0	0	2	1	0	2	0	0	2
	田舎館村	1	2	0	1	0	2	1	0	0	0	0	3
北地区	中泊町	1	3	1	0	0	3	1	0	6	0	0	2
	鶴田町	1	3	0	1	0	3	1	0	4	0	0	0
上北地区	野辺地町	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1
	七戸町	4	11	3	1	0	11	5	0	3	0	0	4
	六戸町	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	横浜町	0	0	0	0	0	0	0	0	2	-	-	2
	東北町	1	2	1	0	0	2	1	0	1	0	0	1
	六ヶ所村	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0

区分 市町村名	災害件数・災害種別				救援物資交付数			天幕等使用状況				備考	
	り災 世帯数	被災 者数	火災		風水害	毛布	緊急 セット	香花料 (円)	天幕	担架	寝台	炊飯器	
			全焼	半焼									
下北地区	大間町	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0	
	東通村	1	1	1	0	0	1	1	0	4	4	0	2
	風間浦村	0	0	0	0	0	0	0	3	-	-	2	
	佐井村	4	9	4	0	0	9	5	0	2	-	-	2
三戸地区	三戸町	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
	五戸町	1	2	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0
	田子町	0	0	0	0	0	0	0	2	0	-	2	
	南部町	6	11	6	0	0	10	5	5,000	5	0	0	8
	階上町	1	7	1	0	0	7	2	0	3	-	-	4
	新郷村	0	0	0	0	0	0	0	5,000	0	2	0	0
	おいらせ町	1	1	1	0	0	1	1	0	-	-	-	9
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
町村計		28	64	25	3	0	62	29	15,000	53	6	0	61
合計		87	209	69	18	0	185	90	110,000	74	6	0	98

平成30年度 赤十字救援車「博愛号」使用状況調

地区分区名		更新年度	当該年度 走行キロ数	延走行キロ数	備 考
市	青 森 市				
	青 森 市	H29	5,315	8,953	
	青森市浪岡	-	-	-	H29 廃止
	弘 前 市	H11	2,191	20,159	
		H13	4,307	128,423	
	八 戸 市	H12	5,185	127,528	
		H15	3,465	68,002	
	黒 石 市	H17	8,337	95,457	
	五 所 川 原 市				
	五所川原市	H30	4,058	4,058	
	五所川原市金木	H14	4,883	145,595	
	五所川原市市浦	H15	2,693	126,345	
	十 和 田 市	-	-	-	H28 廃止
	三 沢 市	H17	6,217	95,231	
	む つ 市				
	む つ 市	H18	7,776	146,127	
	むつ市川内	H6	1,400	156,231	
	むつ市大畠	H9	1,146	131,559	
	むつ市脇野沢	H17	1,567	103,233	
	つ が る 市	H15	9,732	117,920	
		H16	7,450	126,622	
		H11	1,795	97,222	
	平 川 市	-	-	-	H30 廃止
市 計			77,517	1,698,665	
東 地 区	平 内 町	H29	9,453	14,845	
	外 ケ 浜 町	H16	3,067	114,166	
	今 別 町	H28	5,331	15,678	
	蓬 田 村	H15	6,583	157,044	
西 地 区	鰺 ケ 沢 町	H15	3,289	130,726	
	深 浦 町	H29	15,965	27,653	
中 地 区	西 目 屋 村	-	-	-	H25 廃止
	板 柳 町	H15	7,023	92,731	
南 地 区	藤 崎 町	H13	4,003	89,517	
	大 鰐 町	H14	6,919	114,002	
	田 舎 館 村	H10	2,950	106,222	
		H30	1,529	1,529	
北 地 区	中 泊 町	H28	7,744	16,609	
		H12	5,327	210,780	
	鶴 田 町	H30	5,968	5,968	

地区分区名		更新年度	当該年度 走行キロ数	延走行キロ数	備 考
上 北 地 区	野辺地町	H20	8,498	60,569	
	七戸町	H17	8,739	169,713	
	六戸町	H19	13,342	178,166	
	横浜町	H15	7,646	7,646	
	東北町	H9	261	115,421	
		H17	1,682	74,327	
下 北 地 区	六ヶ所村	H29	15,130	24,103	
	大間町	H19	7,960	121,511	
	東通村	H21	7,996	125,315	
	風間浦村	H14	3,815	152,851	
三 戸 地 区	佐井村	-	-	-	H28 廃止
	三戸町	H16	9,467	156,685	
	五戸町	H21	10,547	127,607	
	田子町	H28	6,540	16,312	
	南部町	H28	9,070	23,347	
	階上町	H16	11,382	161,413	
	新郷村	H16	10,940	186,176	
	おいらせ町	H17	12,241	208,957	
町村計			245,121	3,213,224	
合計			322,638	4,911,889	

災害救護活動用 救護装備・資機材の現有保管状況

項目	支 部	八戸赤十字病院	合 計
車両	3	2	5
医療セット	1	3	4
テント	12	2	14
エアテント	1	1	2
担架	25	-	25
折畳寝台	30	-	30
発電機	4	-	4
投光器	8	-	8
浄水機	1	-	1
船舶	1	-	1
衛星電話	2	3	5
災害時優先 電話 (回線数)	固定電話	2	-
	携帯電話	4	-
			4

2. 看護師養成事業

日本赤十字社では赤十字の理念に基づいた看護が実践できるよう、看護教育を行っている。また、このような理念に基づき、地域医療はもとより、国内外の災害救援の現場で即戦力として活躍できるような質の高い看護師を養成するべく、各都道府県支部では看護師養成事業を実施しており、当支部では、日本赤十字秋田看護大学において看護師の養成を行っている。

養成された学生は、卒業後に八戸赤十字病院へ勤務しつつ訓練を重ね、災害時に災害救護要員として医療救護班に編入される。

平成30年度の学年別養成者は次のとおりである。

赤十字看護教育施設	学 年	人 数
日本赤十字秋田看護大学	1年	2名
	2年	2名
	3年	2名
	4年	2名
計	8名	

3. 救急法、健康生活支援講習等の講習普及事業

(1) 講習会実施状況

① 救急法

日常生活における事故防止、手当の基本、人工呼吸や胸骨圧迫の方法、AEDを用いた除細動、止血の仕方、包帯の使い方、骨折などの場合の固定、搬送、災害時の心得などについての知識と技術を学ぶ講習を実施した。

講習種別	実施回数(回)	受講者数(人)	修了者数(人)	養成者数(人)
基礎講習	22	512	507	0
救急員養成講習	8	199	0	199
資格継続研修	4	61	61	0
短期講習	90	3,457	0	0
計	124	4,229	568	199

② 水上安全法

水と親しみ、水の事故から人命を守るために、泳ぎの基本と自己保全、事故防止、溺れた人の救助、応急手当の方法などの知識と技術を学ぶ講習を実施した。

講習種別	実施回数(回)	受講者数(人)	修了者数(人)	養成者数(人)
救助員Ⅰ養成講習	3	14	0	11
救助員Ⅱ養成講習	0	0	0	0
資格継続研修	2	11	11	0
短期講習	29	1,635	0	0
計	34	1,660	11	11

③ 幼児安全法

子どもを大切に育てるため、乳児期に起こりやすい事故とその予防、手当の方法、かかりやすい病気と看病の仕方などの知識と技術を学ぶ講習を実施した。

講習種別	実施回数(回)	受講者数(人)	修了者数(人)	養成者数(人)
支援員養成講習	0	0	0	0
資格継続研修	0	0	0	0
短期講習(総数)	3	61	0	0
計	3	61	0	0

(2) 救急法等指導員在籍状況

各講習会の指導にあたる指導員の在籍状況は次のとおりである。

区分	赤十字職員		ボランティア	合計
	支部	病院		
救急法	8	13	60	81
水上安全法	0	1	32	33
雪上安全法	0	0	0	0
健康生活支援講習	0	5	0	5
幼児安全法	2	3	6	11

(3) 講習普及事業における特色ある事業

青森県高等学校総合文化祭の赤十字部門で行われる「救急法コンクール」では、県内青少年赤十字メンバーによる救急法を用いた実技競技会が毎年開催されており、当支部では、このコンクール出場にむけた講習の実施、出場チームへの指導、さらに、コンクール当日の審査などの支援協力をを行っている。

競技では、各チームが日頃の練習の成果を出し、AEDを使った一次救命処置、固定法、包帯法の総合点を競い合った。

第39回青森県高等学校総合文化祭 赤十字部門「救急法コンクール」

- 月 日 10月13日（土）
- 会 場 青森中央高等学校
- 出場チーム 青森南高等学校、青森明の星高等学校、五所川原第一高等学校A、
五所川原第一高等学校B、弘前高等学校、柴田女子高等学校、
大湊高等学校、田名部高等学校、七戸高等学校、千葉学園高等学校、
八戸商業高等学校、八戸西高等学校

4. 赤十字奉仕団

(1) 赤十字奉仕団活動テーマ

共に生きる喜びを分かちあう赤十字奉仕団活動
——地域と連携し防災・減災を普及しよう——

(2) 赤十字奉仕団育成強化方針

赤十字奉仕団は、赤十字の使命とする人道・博愛の精神のもと、戦後間もなく全国各地に結成され、以来、日本赤十字社を支える大きな力として赤十字事業の推進にあたってきた。

ボランティア活動は、人と人を繋ぐ重要な役割も担っており、永年にわたり地域の活動に携わってきた赤十字奉仕団へ寄せられる期待は高まっている。

その一方で、赤十字奉仕団は、全国的にみても団員の高齢化が進んでおり、団員数の減少に伴う奉仕団組織の弱体化、活動の低下が懸念されている。このことから、堅固な組織としての基盤づくり、さらには後継者の育成に努めていかなければならない。

また、地震や火山噴火をはじめ、台風や大雨による自然災害の多発に伴い、地域コミュニティにおける日頃からの備えや助け合い、さらには防災・減災に対する取り組みへの意識の向上を図ることも重要である。そのためには、日頃の活動においても地域コミュニティとの繋がりの強化を図り、災害時のスムーズな連携に繋げていけるよう努めていく必要がある。

これまでの経験と知識を活かし、赤十字ボランティアの理念である「人間のいのちと健康、尊厳を守る」という赤十字精神に立ち、社会のニーズを的確に捉え地域住民から「信頼される赤十字奉仕団」そして「期待される赤十字奉仕団」を目指して推進するものとする。

(3) 赤十字奉仕団重点施策

1. 赤十字奉仕団体制の整備と強化に努める。
2. 災害時の活動への備えの強化に努める。
3. 地域との連携と協働、他ボランティア団体や奉仕団相互、青少年（こども）赤十字等との交流に努める。
4. 広報活動の充実に努める。
5. 赤十字奉仕団員の意識を高めるための研修の充実に努める。
6. 赤十字会員（社員）増強・活動資金増収への協力に努める。

(4) 赤十字奉仕団組織の状況について（平成31年3月31日現在）

① 平成30年度末時点の組織の状況

	団 数	分団数	団 員 数		合 計
			男 性	女 性	
地域奉仕団	47	222	1,299	7,213	8,512
青年奉仕団	3	0	46	72	118
特殊奉仕団	10	25	392	340	732
合 計	60	247	1,737	7,625	9,362

② 平成30年度における本団等の結成及び解団の状況

「結成」

奉仕団名	分団名	結成年月日
十和田市赤十字奉仕団	長根尻分団	平成30年5月20日付

「解団」

奉仕団名	分団名	解団年月日
むつ市川内赤十字奉仕団	本町・戸沢・蛎崎・田野沢・銀杏木・安部城	平成30年4月25日付
五戸町赤十字奉仕団	豊間内分団	平成30年6月28日付
むつ市赤十字奉仕団	希望・やすらぎ分団	平成31年2月10日付
青森市赤十字奉仕団	仲三上町分団	平成31年3月31日付
おいらせ町赤十字奉仕団	第8分団	平成31年3月31日付

③ 組織の状況の推移

	団 数	分団数	団 員 数		合 計	備 考
			男 性	女 性		
平成 30 年度	60	247	1,737	7,625	9,362	
平成 26 年度	61	286	2,324	9,205	11,529	過去3回の一斉登録の年
平成 22 年度	62	307	2,717	11,729	14,446	
平成 18 年度	73	353	3,201	13,888	17,089	
昭和 53 年度	83	353	-	-	28,031	地域奉仕団全市町村結成の年

(5) 赤十字奉仕団組織現況

① 地域奉仕団

区分	奉仕団名	結成年月日	委員長名	分団数	班 数	男	女	計	組織母体
市	青森市	S33.9.9	内海貞子	5	7	9	146	155	町会有志 市内有志
	青森市浪岡分区	S34.9.30	小倉保英	0	0	16	126	142	民生委員 保健協力員
	弘前市	H20.4.1	齋藤次郎	16	72	201	967	1,168	婦人有志 町会有志
	黒石市	S33.5.20	須藤孝子	4	0	0	191	191	連合婦人会
	五所川原市	S33.9.15	小野慶子	7	4	0	423	423	連合婦人会 市民有志
	金木町	S50.3.27	外崎れい子	5	0	0	152	152	連合婦人会
	市浦	S51.4.30	木津谷清蔵	5	0	3	128	131	行政連絡員 婦人会
	十和田市	H17.1.1	澤内正志	10	12	149	205	354	婦人・町内有志
	三沢市	S50.7.12	沼田弘子	3	13	3	92	95	婦人有志・市民有志
	むつ市	S49.3.30	海老名進	6	0	25	118	143	町会有志 婦人会
	むつ市川内	S50.2.1	石倉司	0	8	2	219	221	連合婦人会 町内有志
	むつ市脇野沢	S50.6.28	山崎輝美子	8	0	0	102	102	連合婦人会
	むつ市大畑分区	S50.3.24	濱田栄子	7	0	2	118	120	連合婦人会他
	つがる市	H18.4.1	藤元弘志	5	15	97	440	537	民生委員 婦人会 行政連絡員
	平川市平賀	S52.1.27	小笠原勝則	5	0	26	103	129	ボランティアグループ
	平川市尾上	S33.9.19	齋藤弘子	6	0	0	65	65	連合婦人会
計 16団				92	131	533	3,595	4,128	
東地区	平内町	S48.10.9	向井麗子	3	0	0	116	116	婦人会
	外ヶ浜町	H17.4.1	高森キクエ	3	16	33	329	362	婦人会 町内有志
	今別町	S33.9.5	阿部和江	7	0	0	60	60	連合婦人会 婦人会OB 町内有志
	蓬田村	S38.9.23	小野富美子	3	0	0	45	45	連合婦人会 婦人有志
	計 4団			16	16	33	550	583	
西地区	鰺ヶ沢町	S53.8.11	澤田賢治	6	0	38	199	237	民生委員 町内有志 婦人会
	深浦町	H18.4.1	堀内カツ	12	0	10	180	190	民生委員 連合婦人会
	計 2団			18	0	48	379	427	
中南地区	西目屋村	S53.6.28	三上文子	3	0	0	44	44	民生委員 連合婦人会 食生活改善委員 老人C連合会
	板柳町	S51.11.30	米澤ノブ子	0	0	0	21	21	婦人・町内有志
	藤崎町	H18.4.1	高木アツ子	2	0	0	147	147	婦人会
	大鰐町	S36.10.13	工藤幸子	3	0	0	51	51	婦人有志
	田舎館村	S51.8.9	工藤泰子	0	0	8	75	83	民生委員 保健協力員
	計 5団			8	0	8	338	346	
北地区	鶴田町	S49.4.1	宮本弘子	2	0	0	28	28	婦人会
	中泊町分区中里	S53.9.1	川島久幸	4	0	13	199	212	民生委員、婦人会
	中泊町分区小泊	S36.10.13	秋元英子	3	0	5	136	141	婦人会 村内有志
	計 3団			9	0	18	363	381	

区分	奉仕団名	結成年月日	委員長名	分団数	班 数	男	女	計	組織母体
上北地区	野辺地町	S33.9.1	長井 竹	4	0	0	76	76	連合婦人会
	七戸町	H21.4.1	盛田 恵津子	2	0	0	66	66	民生委員 更生保護女性会 手話サークル 婦人有志
	六戸町	S50.12.1	佐藤 喜久男	0	0	2	24	26	婦人会有志
	横浜町	S50.2.14	菊池 繁実	4	0	8	57	65	民生委員 ボランティアグループ
	東北町	H17.12.15	浜田 信子	0	0	0	40	40	婦人会 町内有志
	六ヶ所村	S51.12.24	三戸 秀子	0	0	5	115	120	子供会世話人 青年・婦人会有志
計 6団				10	0	15	378	393	
下北地区	大間町	S52.2.10	山崎 繁	2	0	4	73	77	婦人会
	東通村	S51.7.5	伊藤 貢子	6	0	0	80	80	連合婦人会
	風間浦村	S53.1.28	原子 恒子	4	0	0	93	93	連合婦人会
	佐井村	S36.10.13	内藤 要	15	0	163	214	377	婦人会有志 他
	計 4団			27	0	167	460	627	
三戸地区	三戸町	S49.9.7	藤村 立夫	2	0	17	61	78	民生委員 婦人会
	五戸町	H16.7.1	三浦 伸子	9	0	1	167	168	連合婦人会
	田子町	S50.7.21	川村 武司	3	56	321	233	554	老人クラブ 自治会 婦人会
	南部町	H18.4.1	新井山 美智子	11	7	108	378	486	民生委員 老人クラブ 婦人会 母の会 有志
	階上町	S36.10.13	山内 良子	3	13	1	50	51	有志
	新郷村	S50.2.27	佐藤 久美子	4	0	0	49	49	自治会代表 婦人会
	おいらせ町	H18.4.1	吉田 長一	10	0	29	212	241	民生委員 老人クラブ 母親クラブ 有志
計 7団				42	76	477	1,150	1,627	
合計 47団				222	223	1,299	7,213	8,512	

※地域奉仕団の地区分区は、青森県行政機関設置条例に定める地域県民局（地域健康福祉部）の所管に基づいているため、板柳町が中南地区、おいらせ町が三戸地区となっている。

② 特別奉仕団

区分	奉仕団名	結成年月日	委員長名	分団数	班数	男	女	計	備 考
青年奉仕団	平賀	S 41. 2. 14	長 浜 貴 弘	0	0	0	0	0	休団
	佐井村	S 56. 4. 1	田 中 伸 弥	0	0	19	12	31	
	木浪学園赤十字ボランティア	H25. 6. 25	松 井 宏 樹	0	0	27	60	87	
	計	3団		0	0	37	64	118	
特殊奉仕団	点訳・音訳・ディジー編集	S 44. 1. 19	辻 村 澄 子	7	3	20	177	197	
	水上安全法	S 37. 7. 25	江 良 直 志	0	0	17	17	34	
	救急法	S 44. 11. 12	小 寺 芳 人	5	0	49	36	85	
	アマチュア無線	S 47. 5. 21	佐 藤 昕	7	0	93	2	95	
	碇ヶ関家庭看護法	S 52. 4. 8	大 川 富 子	0	0	3	22	25	
	黒石市家庭看護法	S 57. 3. 1	高 橋 チ ョ	0	0	0	18	18	
	青森県献血推進	S 58. 12. 22	平 岡 カ ツ	0	0	0	10	10	
	岩木山パトロール隊	S 59. 4. 29	一 戸 繁 輝	0	0	48	4	52	
	支部家庭看護法	S 61. 11. 18	山 本 初 枝	0	0	0	17	17	
	青森県青少年賛助	H14. 7. 25	佐 藤 光 則	6	0	162	37	199	
計 10団				25	3	392	340	732	



NHK海外たすけあい街頭募金

平成30年度 赤十字奉仕団関係実施状況（日赤本社・支部ほか）

月	日	行 事 名	開 催 場 所
4	10日	赤十字奉仕団指導講師会議	支部
	21～22日	青年赤十字奉仕団全国協議会	日赤本社（東京都）
	24日	赤十字奉仕団青森県支部委員会（県下委員長会議）	県民福祉プラザ（青森市）
5	8～9日	支部赤十字奉仕団担当者研修会	日赤本社（東京都）
	16日	全国赤十字大会	明治神宮会館（東京都）
	25日	都市地区・町村分区事務担当者研修会	支部
6	5月31日～6月1日	赤十字奉仕団中央委員会	日赤本社（東京都）
	2～3日	青年赤十字奉仕団第1ブロック協議会	日赤秋田県支部
	13日	赤十字奉仕団基礎研修会	しあわせプラザ（青森市）
7	19日	三八地区赤十字奉仕団委員長・事務担当者会議	きざん八戸（八戸市）
	24日	むつ下北地区赤十字奉仕団委員長・事務担当者会議	むつ合同庁舎旧館（むつ市）
	25日	東津軽地区赤十字奉仕団委員長・事務担当者会議	支部
	26日	西北地区赤十字奉仕団委員長・事務担当者会議	ホテルサンルート五所川原（五所川原市）
8	8日	中南地区赤十字奉仕団委員長・事務担当者会議	ホテルニューキャッスル（弘前市）
	27日	上十三地区赤十字奉仕団委員長・事務担当者会議	富士屋グランドホール（十和田市）
	25～27日	赤十字ボランティア・リーダー研修会	国立オリンピック記念センター（東京都）
9	12日	青森県赤十字大会	リンクステーションホール青森（青森市）
10	11日	むつ下北地区赤十字奉仕団活動研究会	東通村体育館（東通村）
	19日	赤十字奉仕団リーダーシップ研修会	しあわせプラザ（青森市）
11	20日	都市地区・町村分区関係者会議	県民福祉プラザ（青森市）
12	1～25日	NHK海外たすけあいキャンペーン	全国一斉
	6日	中南地区赤十字奉仕団活動研究会	田舎館村文化会館（田舎館村）
2	1～28日	赤十字会員（社員）増強・活動資金増強運動月間	県内各地区分区
	5～7日	赤十字奉仕団支部指導講師研修会	日赤本社
	20日	赤十字奉仕団強化推進会議	支部

赤十字奉仕団活動研究会開催状況一覧

- 20 -

地区名	開催月日	開催地	参加団数／ 参加者数	講話タイトル／担当指導講師	学習交流会テーマ
東青	隔年開催のため 30年度は開催無し				
西北五	隔年開催のため 30年度は開催無し				
中弘南黒	12月6日	田舎館村	9団／115名	「赤十字奉仕団の災害時の活動について」 東青地区担当：河田 俊満	大規模災害に備えて ～自分たちに何ができるか～
上十三	隔年開催のため 30年度は開催無し				
むつ下北	10月11日	東通村	8団／120名	「地震災害から学ぶ」 三八地区担当：中村 正	①災害時の活動への備えのあり方 ②奉仕団体制の整備のあり方 ③奉仕団活動の工夫と充実のあり方
三八	隔年開催のため 30年度は開催無し				

共通テーマ 「共に生きる喜びを分かちあう赤十字奉仕団活動」－地域と連携し防災・減災を普及しよう－

※地区名は行政区域の名称を使用している。

5. 青少年赤十字

青少年・こども赤十字は、将来を担う青少年が赤十字を正しく理解し、進んで赤十字活動に参加するとともに、世界の平和と人類の福祉に貢献できる人材育成を目標として、国際赤十字・赤新月社連盟が推進している重要な事業である。従って、当支部としても青少年・こども赤十字への加盟促進と活動充実を図り、指導者と協力しながらジュネーブ条約に基づく赤十字精神を青少年に普及し人間形成を目指している。

日本赤十字社では、重点項目の一つとして、自然災害から自分のいのちを自分で守り、家庭や学校、地域に対して防災意識を広め高めることのできる青少年を育て、思いやりや優しさ、いのちの大切さを養うことができる「青少年赤十字防災教育プログラム」を作成し、加盟校を中心に授業等でのプログラムの実施や各種研修会等での教職員への普及を積極的に実施した。併せて、2018年8月に完成した幼稚園・保育所を対象とした防災教材「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！」を4千セット製作し、全国の加盟施設に配布した。

また、支部として、幼稚園・保育園児への防災教育を喫緊の課題ととらえて、歌を通して、こどもたちのいのちの大切さ、思いやりの心、防災意識の向上へと繋げることを目的に制作したいのちをまもる ぼうさいイメージソング「愛をつないで」(CD) を県内の加盟園・加盟校に配布した。今後は、加盟園・加盟校や関係行事等を中心に普及促進を図る。

加盟登録状況については、今年度支部が定めた加盟促進・普及計画に基づき実施したが、少子化に伴う学校再編等の影響もあり、脱退・統廃合校数が新規加盟校数を上回る結果となった。

支部主催による青少年赤十字メンバーを対象とした各種研修事業及び指導者養成講習会については、計画どおり実施した。引き続き研修会等の趣旨を説明し、青少年赤十字メンバーや指導者の積極的な参加を促すための広報展開が必要である。

各地区指導者協議会及び部会主催による研修事業への参加者は、昨年度に引き続き増加傾向が見られた。また、作品展や交流会などへの参加者も増加傾向にあり、地域住民に対する赤十字思想の普及啓発に繋がっている。その他、青少年赤十字活動については、各地区指導者協議会、施設校単位で実情に応じて積極的に実施されている。



笑顔で完成したCDを手にする
作詞（左）田頭初美園長・作曲者（右）桜田マコトさん



幼稚園・保育所向け防災教材
「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！」

(1) 平成30年度青少年赤十字加盟登録状況

① 平成30年度青森県支部青少年赤十字登録人員登録票

区分	加盟学校（園・所）数					
	①29年度末 加盟校数	②30年度中 脱退校数	③統廃合によ る減少	④継続校数 ④=①-②-③	⑤30年度末 新規登録校数	⑥30年度末 加盟校数 ⑥=④+⑤
幼稚園	29	0	0	29	0	29
保育所(園)	188	3	0	185	0	185
小学校	115	1	0	114	1	115
中学校	62	2	0	60	1	61
高等学校	57	0	0	57	0	57
特別支援学校 (盲・聾・ 養護学校等)	4	0	0	4	0	4
計	455	6	0	449	2	451

区分	今回(平成30年度)の登録数		
	加盟学校学級数	クラブ／委員会数	加盟児童・生徒数
幼稚園	118	0	男 1,000
			女 962
			小計 1,962
保育所 (園)	760	0	男 5,546
			女 5,246
			小計 10,792
小学校	922	1	男 8,748
			女 8,462
			小計 17,210
中学校	405	3	男 4,589
			女 5,248
			小計 9,837
高等学校 (高専)	0	57	男 401
			女 884
			小計 1,285
特別支援学校 (盲・聾・ 養護学校等)	18	0	男 40
			女 25
			小計 65
計	2,223	61	男 20,324
			女 20,827
			合計 41,151
			指導者数 5,171

② 校種別加盟登録状況の内訳

校種	項目	合計	内訳(学校・施設名)
幼稚園	継続加盟	29	別紙——一覧表のとおり
	新規登録	0	
	統廃合	0	
	脱退・休止	0	
保育所(園)	継続加盟	185	別紙——一覧表のとおり
	新規登録	0	
	統廃合	0	
	脱退・休止	3	ひなづる(青森市)／新里(弘前市)／蔵館(大鰐町)
小学校	継続加盟	114	別紙——一覧表のとおり
	新規登録	1	松島(五所川原市)
	統廃合	0	
	脱退・休止	1	三岳児童センター(弘前市)
中学校	継続加盟	60	別紙——一覧表のとおり
	新規登録	1	筒井(青森市)
	統廃合	0	
	脱退・休止	2	大鰐(大鰐町)／第一(十和田市)
高等学校	継続加盟	57	別紙——一覧表のとおり
	新規登録	0	
	統廃合	0	
	脱退・休止	0	
特別支援学校 (盲・聾・養護学校)	継続加盟	4	別紙——一覧表のとおり
	新規登録	0	
	統廃合	0	
	脱退・休止	0	



スタディーツアー ネパールの学校のこどもたちと記念撮影をする
日本の青少年赤十字メンバーと指導者

③ 平成30年度 青少年赤十字地区別加盟登録一覧

東青地区							西北五地区						
市町村名	幼稚園	保育園(所)	小学校	中学校	高等学校	特別支援	市町村名	幼稚園	保育園(所)	小学校	中学校	高等学校	特別支援
青森市	1 青中短1	1 和幸	1 野内	1 北	1 青森西	1 青森第一養護	五所川原市	1 金木	1 七和	1 五所川原	1 金木	1 五所川原商業	
	2 青中短2	2 幸畑	2 西田沢	2 浦町	2 東奥学園	2 青森聾				2 三好	2 市浦	2 金木	
	3 青中短3	3 千富	3 高田	3 佃	3 青森中央					3 三輪		3 五所川原	
	4 油川	4 佃	4 荒川	4 荒川	4 青森北					4 東峰		4 五所川原第一	
	5 東奥	5 泉川	5 浪岡北	5 東	5 明の星					5 栄			
	6 あすなろ	6 あおりみなみこども園	6 浪岡南	6 西	6 青森東					6 金木			
	7 中央文化	7 後潟	7 戸山	7 青森						7 松島			
	8 若芽	8 本郷	8 浪岡	8 青森南					1 いなほ	1 育成	1 森田	1 木造	
	9 戸山		9 筒井	9 青森工業					2 薗館	2 柏	2 車力		
	10 青森東こども園			10 青森山田					3 しげた	3 離波			
	11 あかしや			11 浪岡					4 もりた				
	12 浪岡若葉こども園			12 北斗					5 かしわこども園				
	13 しらゆり			13 青森商業					6 かしわあつぶるこども園				
	14 こども園 瑞穂						鰯ヶ沢町			1 西海	1 鰯ヶ沢	1 鰯ヶ沢	
	15 合浦保									2 舞戸			
	16 中央保												
	17 浦町												
	18 青森甲田こども園						深浦町		1 みはる	1 いわさき		1 深浦校舎	
	19 青森山田こども園								2 みよし	2 修道			
	20 青森こども園								3 えの木				
									4 きらら				
平内町	1 山彦	1 東和	1 山口	1 西平内			板柳町			1 板柳北			
	2 小湊	2 小湊											
	3 口広	3 東											
	4 山彦												
	5 青空												
外ヶ浜町	1 風のまちこども園			1 平館			中泊町	1 中里こども園		1 小泊		1 中里	
				2 三厩					1 水元	1 梅沢		1 鶴田	
										2 鶴田			
今別町		1 今別こども園					鶴田町			3 富士見			
蓬田村		1 蓬田	1 蓬田	1 蓬田									
校種別計	8	27	12	13	13	2		2	12	19	5	9	0
地区合計				75			地区合計			47			

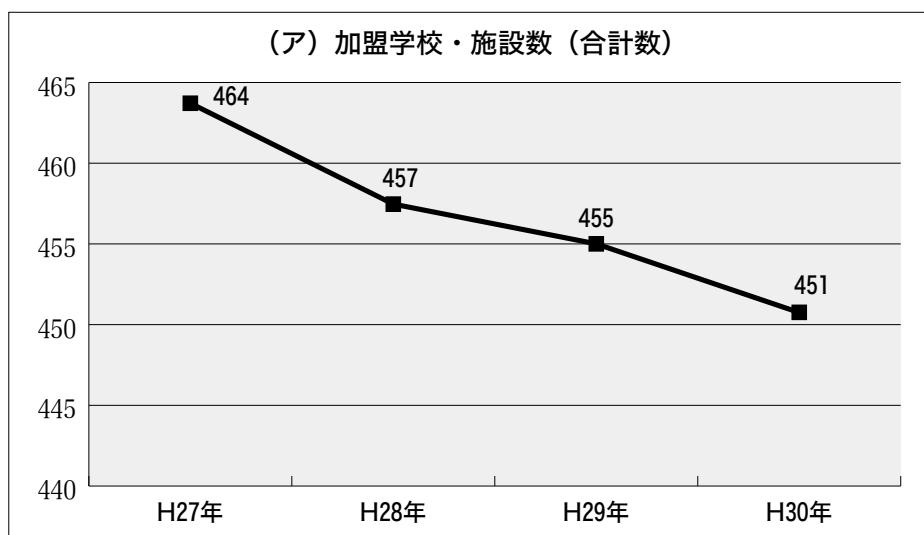
中弘南黒地区							上十三地区						
市町村名	幼稚園	保育園(所)	小学校	中学校	高等学校	特別支援	市町村名	幼稚園	保育園(所)	小学校	中学校	高等学校	特別支援
弘前市		1 大東	1 石川 26 城西	1 石川	1 弘前中央		十和田市	1 さつき	1 ほなみ	1 藤坂	1 切田	1 三本木	
		2 高杉	2 東目屋 27 青柳	2 津軽	2 東奥義塾				2 十和田めぐみ	2 松陽		2 十和田西	
		3 みどり	3 第三大成 28 岩木	3 新和	3 弘前実業				3 きく	3 下切田		3 十和田工業	
		4 ようせい	4 三省 29 自得	4 船沢	4 弘前工業				4 緑と太陽	4 高清水		4 三本木農業	
		5 やまぶき	5 ボランティア大開	5 第一	5 柴田女子				5 みきの				
		6 めぐみ	6 東	6 第二	6 弘前南								
		7 青女子	7 文京	7 第三	7 弘前		三沢市	1 いちい	1 チャリティー第1	1 三川目		1 三沢商業	
		8 大開	8 城東	8 第四					2 チャリティー第2				
		9 ふじこども園	9 致遠	9 第五			野辺地町					1 野辺地西	
		10 弘前すみれ	10 新和	10 裾野								2 野辺地	
		11 こどもの城	11 小沢	11 相馬			七戸町		1 榎林こども園	1 城南		1 七戸	
		12 ひまわり	12 大和沢	12 東目屋					2 道ノ上こども園				
		13 致遠	13 豊田	13 北辰			おいらせ町						
		14 若草	14 大成	14 南					1 錦ヶ丘				
		15 城東	15 時敏						2 あゆみ				
		16 ふたば	16 朝陽						3 川口				
		17 堀越こども園	17 北						4 下田こども園				
		18 サンこども園	18 福村						5 本村こども園				
		19 石川こども園	19 子供の館						6 深沢				
		20 こどもの櫻	20 こどもの城				六戸町	1 ひのでこども	1 大曲	1 七百	1 六戸		
		21 木の実こども園	21 桂梗野					2 第二日の出	2 開知				
		22 鳥井野	22 高杉				横浜町						
		23 大浦	23 三和						1 中央ボーラ				
			24 西						2 水喰				
			25 船沢						3 ボーラ				
	西目屋村		1 西目屋						4 千曳				
黒石市		1 中郷こども園		1 中郷	1 黒石	1 黒石養護	東北町		5 乙供文化				
		2 アリス							1 泊第二	1 千歳平		1 六ヶ所	
		3 美郷こども園							2 千歳平こども園				
		4 たけみ											
平川市		1 日の出こども園	1 碓ヶ関	1 平賀東	1 尾上総合								
		2 あらや		2 平賀西									
		3 大坊こども園		3 碓ヶ関									
		4 はずね											
		5 碓ヶ関中央こども園											
		6 高城こども園											
		7 平賀あすなろ											
		8 平川中央こども園											
藤崎町		1 ふじ	1 常盤	1 藤崎									
			2 藤崎	2 明徳									
			3 藤崎中央										
大鰐町	1 おおわに文化	1 あじやら東こども園											
田舎館村		1 田舎館こども園	1 田舎館	1 田舎館			地区合計	2	24	9	2	10	0
校種別計	1	38	35	21	9	1							
地区合計			105				地区合計				47		

むつ下北地区							三八地区						
市町村名	幼稚園	保育園(所)	小学校	中学校	高等学校	特別支援	市町村名	幼稚園	保育園(所)	小学校	中学校	高等学校	特別支援
むつ市	1 あたご	1 エビナ	1 脇野沢	1 脇野沢	1 むつ工業		八戸市	1 旭ヶ丘	1 城下	26 ひとりかぜわくわく	51 是川	1 多賀	
	2 むつひまわり	2 大畠中央	2 正津川		2 田名部			2 かもめ	2 こざくら	27 はぐさん	52 千草	2 鮫	
	3 星美	3 正津川児	3 関根		3 川内校舎			3 桔梗野	3 浜市川	28 湿	53 こぼと	3 吹上	
	4 柳町ひまわり	4 第三田名部			4 大湊			4 高館	4 薩木	29 藤覚	54 さえずりの森	4 江南	
	5 小町第二百合	5 奥内						5 長者	5 さめ	30 白銀台	55 江陽こども園	5 新井田	
	6 よしの	6 大畠						6 マリアンハウス	6 桔梗野	31 南市	56 旭ヶ丘	6 種差	
	7 大平							7 八戸学院	7 すみれ	32 おおきこども園	57 新井田	7 島守	
	8 近川							8 第二しののめ	8 テレジア	33 ひまわり	58 小久保		8 八工大一高
	9 並木							9 聖アンナ	9 いちのさわ	34 こどもの城	59 日計		9 八工大二高
	10 白百合							10 岸台	10 岸台	35 白山台			10 向陵
	11 ゆきのこ							11 多賀台	11 多賀台	36 うぐいす			11 八戸学院光星
	12 海の子							12 大杉平	12 大杉平	37 太陽と海の子			
	13 あすなろ							13 中居林こども園	13 中居林こども園	38 下長こども園			
	14 苔生ひまわり							14 虹の丘	14 虹の丘	39 小中野			
大間町	1 大間	1 うみの子	1 奥戸	1 奥戸				15 三条	15 三条	40 しみず			
	2 大間	2 大間	2 大間	2 大間			三戸町	16 がくのね	16 がくのね	41 白鷗			
東通村			1 東通	1 東通				17 国南	17 国南	42 類家			
風間浦村		1 風間浦						18 滝高台こども園	18 滝高台こども園	43 河原本中央			
佐井村	1 佐井村	1 佐井	1 牛滝	1 佐井				19 エンゼル子どもの家	19 エンゼル子どもの家	44 桐の葉			
		2 佐井	2 福浦					20 尾内	20 尾内	45 明星こども園			
		3 福浦	3 牛滝					21 根城こども園	21 根城こども園	46 サンフラワー			
								22 木の実園	22 木の実園	47 福聚			
								23 三島	23 三島	48 むつみ			
								24 すぎのこ	24 すぎのこ	49 ほうりん			
								25 根岸	25 根岸	50 貴福			
								1 ミューズ	1 ミューズ		1 杉沢	1 三戸	1 三戸
											2 杉沢		
								1 江渡	1 江渡	1 めぐみ	1 五戸	1 五戸	
											2 上市川	2 倉石	
											3 切谷内		
								1 田子	1 田子		1 田子	1 田子	
											2 上郷		
											3 清水頭		
							南部町	1 あかね	1 チェリー		1 南部	1 南部	
								2 福地	2 福地		2 剣吉	2 福地	
											3 福田	3 杉沢	
											4 向	4 名川	
											5 名久井		
											6 名川南		
											7 福地		
											8 杉沢		
							階上町	1 石鉢	1 石鉢		1 石鉢	1 道仏	
								2 階上	2 階上		2 階上		
								3 道仏	3 道仏		3 赤保内		
							新郷村				4 道仏		
											5 大蛇		
校種別計	4	18	12	7	4	0	校種別計	12	66	28	13	12	1
							地区合計			132			
地区合計							県 計						
							幼稚園	保育園(所)	小学校	中学校	高等学校	特別支援	
							平成30年度末計	29	185	115	61	57	4
							総 計	451					

④ 青少年赤十字加盟登録状況の推移

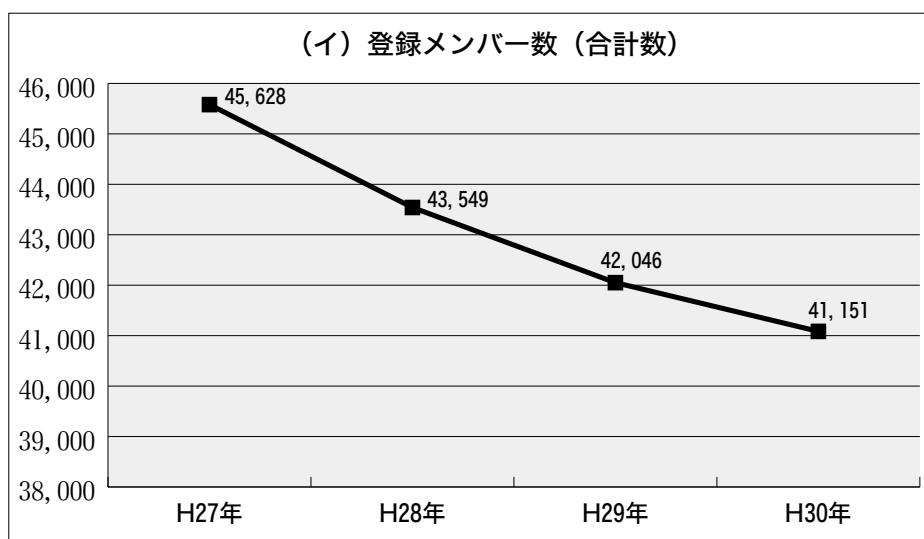
(ア) 加盟校・施設数合計

年度	学校・施設数
H27年	464
H28年	457
H29年	455
H30年	451



(イ) メンバー数合計

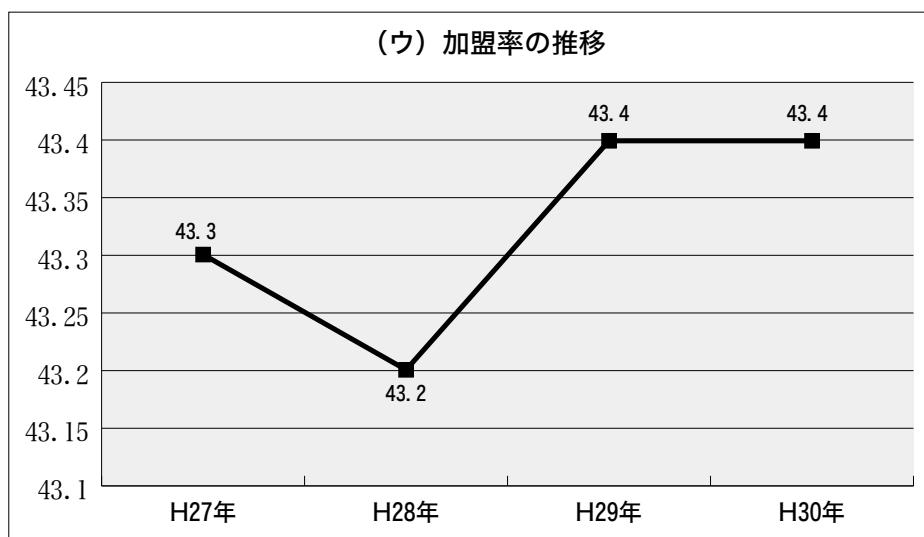
年度	登録メンバー数
H27年	45,628
H28年	43,549
H29年	42,046
H30年	41,151



(ウ) 加盟率の推移

(小中高特別支援/幼保除く)

年度	学校・施設数
H27年	43.3
H28年	43.2
H29年	43.4
H30年	43.4



(2) 青少年赤十字関連研修会・会議開催状況

① 本社主催研修会

名 称	開 催 月 日	開催場所	参 加 者
トレセン指導者養成講習会	5月25日～27日	国立オリンピック記念青少年総合センター (東京都)	長谷川美紗 (県立八戸東高等学校養護教諭) 小山内悠祥 (柴田女子高等学校教諭) 張間 亮※1 (県立北斗高等学校教諭) ※1 本社要請指導スタッフ
国際交流集会 (高校生メンバー対象)	11月22日～25日	国立オリンピック記念青少年総合センター (東京都)	太田 蘭蘭 (東奥学園高等学校1年) 長谷川美紗 ※1 (県立八戸東高等学校養護教諭) ※1 本社要請指導スタッフ
スタディーツアー (高校生メンバー対象)	12月22日～29日	ネパール連邦 民主共和国	秋田 流有 (県立青森南高等学校2年) 中村 友是※1 (柴田女子高等学校教頭) ※1 本社要請指導スタッフ
指導主事対象研究会	平成31年1月9日～10日	日本赤十字社本社	蒔苗 尚文 (西北教育事務所指導主事)
スタディー・センター (高校生メンバー対象)	平成31年3月22日～26日	東照館 (山梨県)	大儀 凜果 (県立弘前高等学校1年) 菊地 風花 (県立田名部高等学校1年)

② ブロック（担当支部）主催研修会

名 称	開 催 月 日	担当支部	参 加 者
第1B指導者研究会	10月30日～31日	日本赤十字社 山形県支部	柏田 頤 (弘前市立岩木小学校教諭)

③ 支部主催研修会

名 称	開 催 月 日	開催場所	参 加 者
高校トレーニングセンター ／指導者養成講習会	8月3日～5日	公立小川原湖青年の家 (東北町)	メンバー29名／指導者5名
高校リーダー研修会	平成31年1月6日～8日	県立梵珠少年自然の家 (五所川原市)	メンバー27名

④ 会議など

名 称	開 催 月 日	開催場所	参 加 者
指導講師会議・研修会	4月20日	日赤県支部	指導講師7名
県賛助奉仕団総会	6月8日	ラ・プラス青い森	賛助奉仕団員
全国指導者協議会総会	6月28日～29日	日本赤十字社本社	県青少年赤十字指導者協議会副会長 三浦 博英 (外ヶ浜町立三厩中学校長)

名 称	開 催 月 日	開催場所	参 加 者
全国賛助奉仕団協議会総会	7月5日～6日	日本赤十字社本社	県賛助奉仕団委員長 佐藤 光則
県指導者協議会理事会・ 指導主事等対象研修会	7月12日	県総合社会教育 センター	指導者31名
高総文青少年赤十字 部門発表会	10月13日	県立青森中央 高等学校	県内高校生メンバー・ 指導者 他
青少年赤十字懇談会	12月21日	青森市福祉増進 センター・ しあわせプラザ	日赤青森市地区理事36名 活動事例発表者 神山 優紀 (県立青森中央高等学校3年)

(3) 平成30年度青森県青少年赤十字指導者協議会役員名簿

役 職 名	氏 名	所 属 校 (施 設)
会 長	三 浦 博 英	外ヶ浜町立三厩中学校
副会長(幼・保)	蛇 名 將 輝	青森甲田こども園
副会長(小)	川 崎 守	十和田市立藤坂小学校
副会長(中)	天 坂 文 隆	弘前市立第四中学校
副会長(高)	四 木 博 之	県立八戸中央高等学校

(4) 平成30年度青少年赤十字指導講師名簿

担当地区	氏 名	
東 青 地 区	石 村 光 也	
西北五地区	長 尾 孝 紀	近 藤 徹
中弘南黒地区	田 中 均	
上十三地区	高 橋 賢 三	丸 井 英 子
むつ下北地区	飯 田 知 克	沢 田 要 一
三 八 地 区	中 村 正	
高 等 学 校	瀧 本 ひろみ	

(5) 平成30年度青森県青少年赤十字賛助奉仕団役員名簿

役 員 名	氏 名
委 員 長	佐 藤 光 則
副 委 員 長	小 澤 俊 文
〃	桜 田 与 市
事 務 局	坂 本 堅 一
〃	中 村 正
〃	鶴 賀 一 昭

平成30年度 青森県青少年赤十字指導者協議会役員一覧

県役員	事項/地区		東 青		西 北 五		中 弘 南 黒		上 十 三		む つ 下 北		三 八	
	所属	氏名	氏名	所属	氏名	所属	氏名	所属	氏名	所属	氏名	所属	氏名	所属
会長・三浦博英	理 事	会 長	三浦 博英	三厩中	佐藤 康子	いわさき小	天坂 文隆	第四中	川崎 守	藤坂小	二本柳 卓	佐井小	坂本 晴美	剣吉小
		副 会 長	蛇名 将輝	青森甲田こども園	大橋登美子	菰槌保	三浦 テツ	城東保	山内 豪士	きく保	小野 弘子	並木保	田頭 正嗣	みどりのかぜ北ウイング
		事	田中 聰	小湊小	三橋 一晃	三好小	佐藤 忠浩	岩木小	清水目明美	松陽小	氣仙 宏	牛滝小	内山 伸治	吹上小
	専 門 委 員	齋藤 裕行	青森北中	下山美智子	五所川原商業高	今 智人	明徳中	中田 孝幹	切田中	飯田 一彦	奥戸中	外崎 隆治	新郷中	八戸高
		高橋福太郎	東奥学園高	鈴木 雅博	弘前高	工藤 清寿	工藤	七戸高	今井 啓之	田名部高	一戸 利則	一戸高		
		小泉 隆人	幸畑保	伊藤 孝晃	菰槌保育園	山口 優美	中郷こども園	長嶺 寿子	ひのでこども園	前田 周子	ゆきのこ保	小澤 一雅	すみれ保	
		幼 児 部 会	蛇名 崇子	山彦幼		木立 瞳子	アリス保	古田 秀子	いちい幼	齐藤 典子	エビナ保	田端 良子	長者幼稚園	
		石村 康弘	蛇名 將之	あおもりみみこども園		工藤 淳	めぐみ保	熊野 博文	川口保			斎藤 典子	中居林こども園	
	小学校部会	武井 秀雄	浪岡南小	工藤 武英	三輪小	米坂 浩利	高杉小	原田 克人	高清水小	佐賀規子	大間小	野呂 隆子	吹上小	
		小松 達弘	山口小	小山内綾子	五所川原小	比内 倫子	田舎館小	小泉 仁一	三川目小	田中 絵夢	東通小	三上 育子	江南小	
		藤田 成人	蓬田小		鷺尾 厚	青柳小	橋本真由美	橋本真由美	開知小	瀧田 綾子	佐井小	小泉 壮央	五戸小	
副会長・蛇名将輝	中学校部会	齋藤 裕行	青森北中	松山 伸	金木小	石岡 卓彦	第四中	中田 孝幹	切田中	渡邊 一哉	奥戸中	三浦 康	福地中	
		小島 淳	平館中	今 伸子	栄小	西谷 英規	南中	杉澤 孝	七百中	米沢 真輝	佐井中	工藤 素子	名川中	
	高校部会	齋藤 実	浪岡中							小野 桃子	東通中	大宮 薫	田子中	
		平山しのぶ	青森西高	外崎 淳郎	東峰小	中村 友是	柴田女子高	水上 美輝	十和田工業高	工藤 桃子	大湊高	大川 尚美	八戸工業高	
川崎守天坂文隆四木博之	協地議区会指導事務局者	川崎 阳子	青森南高	小田桐 歩	いわさき小	三上由美子	弘前高	玉館香奈子	七戸高	市村 哲子	むつ工業高	諏訪 節子	八戸西高	
		張間 亮	北斗高			田澤美保子	弘前南高	小田留美子	六戸高	酒井 典子	大湊高川内校舎	長谷川美紗	八戸東高	
		三上 理恵	青森山田高					上條 洋子	三本木農業高					
	事務局長	齊藤 直樹	三厩中	上村 正信	いわさき小	戸澤 康之	第四中	金田 瞳子	藤坂小	宇野ゆか子	奥内小	伸山 啓	剣吉小	
		中村亜希子	三厩中			長濱 吉徳	第四中	立崎 智康	藤坂小	千葉 栄美	田名部高	三浦 康	福地中	
		〒030-1729 外ヶ浜町字三厩下平5-1 外ヶ浜町立三厩中学校内		〒038-2203 深浦町正道尻字小磯13-2 深浦町立いわさき小学校内		〒036-8228 弘前市樹木5-2-6 弘前市立第四中学校内		〒034-0041 十和田市相坂字小林355-1 十和田市立藤坂小学校内		〒035-0011 むつ市奥内字中野40 むつ市立奥内小学校内		〒039-0612 南部町剣吉字大館10-1 南部町立剣吉小学校内		
	部地区会事務局児	TEL0174(37)2042Fax0174(37)2504		TEL0173(77)2277Fax0173(77)2281		TEL0172(32)5244Fax0172(32)5248		TEL0176(23)2222Fax0176(23)2473		TEL0175(26)2214Fax0175(26)2214		TEL0178(75)0009Fax0178(75)1779		
		部会長	蛇名 将輝	青森甲田こども園	大橋登美子	菰槌保育園	三浦 テツ	城東保	山内 豪士	きく保	小野 弘子	並木保	田頭 正嗣	みどりのかぜ北ウイング
		事務局長	佐山 真子	あおもりみみこども園	伊藤 孝晃	菰槌保育園	相馬 玲子	大浦保	山内 幸子	きく保	中野 正子	並木保	原田 輝子	みどりのかぜ北ウイング
	事務局員	事務局員	太田 昭美	あおもりみみこども園									岩崎加奈子	ミューズ保
		所 在	〒030-0855 青森市北金沢2-19-6 あおもりみみこども園内		〒038-3286 つがる市木造菰槌千代森35-4 菰槌保育園内		〒036-1313 弘前市賀田2-7-2 大浦保育園内		〒034-0088 十和田市西十四番町6-3 きく保育園内		〒035-0046 むつ市南町9-36 並木保育園内		〒039-1113 八戸市西白山台4-1-16 みどりのかぜ北ウイング内	
		所 在	TEL017(776)6215Fax017(776)6212		TEL0173(45)3855Fax0173(45)3856		TEL0172(82)3037Fax0172(82)4342		TEL0176(23)9066Fax0176(23)9066		TEL0175(22)6500Fax0175(22)7322		TEL0178(27)3311Fax0178(27)3312	
	部地区会事務局児	部会長	高橋福太郎	東奥学園高	下山美智子	五所川原商業高	鈴木 雅博	弘前高	工藤 清寿	七戸高	今井 啓之	田名部高	一戸 利則	八戸高
		事務局長	真田 龍一	東奥学園高	工藤世志乃	五所川原商業高	三上由美子	弘前高	玉館香奈子	七戸高	千葉 栄美	田名部高	山口 明子	八戸高
		事務局員	福田有希恵	東奥学園高									秋山 統子	八戸工業大学第一高
	部地区会事務局校	所 在	〒030-0821 青森市勝田2-11-1 東奥学園高等学校内		〒037-0004 五所川原市大字唐笠柳字藤巻80 五所川原商業高等学校内		〒036-8558 弘前市新寺町1-1 県立弘前高等学校内		〒039-2516 七戸町字館野47-31 県立十和田西高等学校内		〒035-0054 むつ市海老川町6-18 県立田名部高等学校内		〒031-0021 八戸市長者4-4-1 県立八戸高等学校内	
		所 在	TEL017(775)2121Fax017(775)2137		TEL0173(35)5151Fax0173(34)5151		TEL0172(32)0251Fax0172(32)3227		TEL0176(62)4111Fax0176(62)4112		TEL0175(22)1184Fax0175(23)7233		TEL0178(44)0916Fax0178(47)9361	
		指導講師	石村 光也	瀧本ひろみ (高校)	長尾 孝紀 近藤 徹		田中 均		高橋 賢三		飯田 知克		中村 正	

6. 国際活動

日本赤十字社は、スイスのジュネーブにある赤十字国際委員会・赤新月社連盟を中心に世界191カ国の赤十字（赤新月社）と連携しながら、開発途上国の援助や飢餓・紛争や自然災害等で苦しんでいる人々に援助の手をさしのべると共に国際親善の強化に努めている。国際赤十字・赤新月社連盟は大規模災害発生に備え、ERU（緊急対応ユニット）を配備しており、日本赤十字社では基礎保健型ERUを保有し、国際的な救援要請に応える準備を整えている。当支部ではERU要員1名を有している。

また、平成30年度は日赤本社が主体となって実施している青少年赤十字海外支援事業ネパールスタディーツアーに、本県より指導者1名と高校生メンバー1名が参加した。

（1）国際援助活動

① NHK海外たすけあい（第36回）

窓口区分		取扱件数（件）	取扱金額（円）
支 部 扱 い	支部管内取扱	497	193,250
	NHK各放送局	13	120,907
	地方銀行	34	260,634
合計		544	574,791

② 国際救援金受付状況

災害名	取扱件数（件）	取扱金額（円）
2018年インドネシア・ロンボク島地震救援金	14	89,642
2018年インドネシア・スマルタ島地震救援金	11	126,410
中東人道危機救援金	1	351
計	26	216,403

（2）国際協力事業

○救急法普及支援事業

日本赤十字社では、アジア・大洋州地域における災害対策事業の一環として、平成16年度より救急法等の講習事業を支援しており、現在、カンボジア赤十字社、ミャンマー赤十字社及び東ティモール赤十字社に対し、救急法指導者の派遣と併せて、両社が推進する救急法普及事業への財政的支援を行っている。

本事業期間中は、毎年、現地の救急法指導者を対象として、概ね1～2週間程度の日程で救急法指導者研修会が実施されることになっており、日本赤十字社からは、この研修会に対し、支部または管下施設の職員及びボランティアの救急法指導員を派遣し、指導内容や、事業に対する助言を行っており、財政面のみならず技術面からも“目に見える支援”を実施している。

○青少年赤十字海外支援事業

ネパール赤十字社支援事業として、衛生分野の環境改善が急務の同国において、学校、コミュニティにおける水衛生環境の改善を目的に青少年赤十字メンバーを対象とした手洗いの重要性や簡易手洗い場の作り方の研修など様々な事業を展開している。

また、バヌアツ赤十字社支援事業として、災害に対し脆弱な同国支援のため、子どもたちの防災意識の向上、学校における災害リスクの軽減を目的に防災教育事業およびボランティアのネットワーク強化などへの支援を実施している。

なお、平成30年度はネパール赤十字社支援事業に指導者と高校生メンバーを派遣しており、派遣概要は以下のとおりである。

- ・事業名称：青少年赤十字海外支援事業ネパールスタディーツアー
- ・派遣場所：ネパール連邦民主共和国
- ・日 程：12月22日～29日
- ・参 加 者：指導者 柴田女子高等学校 教頭 中村友是
高校生メンバー 青森南高等学校 2年 秋田流有
- ・活動内容：ネパール赤十字社表敬訪問
事業対象地域の学校訪問
プレゼンテーション（日本とネパール両国の青少年赤十字活動について等）
共同活動（衛生に関する劇の鑑賞、コーヒープランテーション等）
文化交流



スタディーツアー 手洗い場で手を洗う
ネパールの学校のこどもたち

◎国際協力事業に対する平成30年度の拠出額は次のとおりである。

第1ブロック各支部拠出金総額	5,193,000円
内、当支部負担額	726,000円

(3) 三沢米軍基地内アメリカ赤十字社との連携

三沢米軍基地内にあるアメリカ赤十字社三沢基地支部（以下：米赤三沢支部）と連携し、相互事業への協力を実施している。

(4) 国際活動体験ツアー in Aomori の実施について

赤十字のグローバルな活動を特に若年層へ広くPRすることで、赤十字事業全体への理解を深めてもらうため、将来国際的な活動を志望する看護学生に、赤十字の国際活動を中心に机上演習により国際救護の実際を知ってもらう機会を提供している。

・月 日：9月29日～30日	・参加者：日本赤十字秋田看護大学 学生 10名
・場 所：青森公立大学	同上 教職員 4名
・主 催：日本赤十字社青森県支部	研修講師 5名
・内 容：国際緊急支援のシミュレーション	青森県支部職員 1名
	計20名

7. 社会福祉事業

(1) 青森県支部受託青森県立はまなす医療療育センター

① 概 要

児童福祉法第42条第2号及び第43条第2号に規定されている医療型障害児入所施設及び医療型児童発達支援センター並びに障害者総合支援法第5条第6項、第5条第7項及び第5条第8項に規定されている療養介護、生活介護及び短期入所の運営業務を青森県より委託を受け、また、医療法に規定する病院としての機能による小児リハビリテーションを中心に、小児整形外科疾患や障害児の小児科治療を中心として行っている。

(ア)医療型障害児入所施設 肢体不自由42床 重症心身障害40床

肢体不自由児及び重症心身障害児を入所させて、保護、日常生活の指導、独立自活に必要な知識技能の付与及び治療を行っている。

(イ)医療型児童発達支援センター 40名

肢体不自由児及び重症心身障害児を通わせて、日常生活における基本的動作の指導、独立自活に必要な知識技能の付与及び集団生活への適応のための訓練並びに治療を行っている。地域支援として、保育所等訪問支援、障害児相談支援及び計画相談支援の事業を行っている。

(ウ)療養介護 肢体不自由42床 重症心身障害40床

障害者を入所させて、機能訓練、療養上の管理、看護、医学的管理の下における介護及び日常生活上の世話並びに供与を行っている。

(エ)生活介護 20名

障害者を通わせて、入浴、排せつ及び食事の介護、創作的活動及び生産活動の機会の提供等の便宜を供与を行っている。

(オ)短期入所 (空床型)

障害者等を短期間入所させて、入浴、排せつ及び食事の介護等の便宜を供与している。

(カ)外来診療

乳幼児の運動発達診察や小児整形外科疾患の診察と治療、そして、障害児の小児診療を行っている。

(キ)療育相談

各市町村及び県南・むつ市の3保健所とともに障害児の早期発見のために、赤ちゃんの運動発達相談を行い、また、必要により在宅の障害児（者）の家庭訪問を行っている。

② 年間利用児（者）延数及び外来患者数

(ア)医療型障害児入所施設・療養介護（肢体）	延 12,762人	(1日平均 35.0人)
(イ)医療型障害児入所施設・療養介護（重心）	延 10,044人	(1日平均 27.5人)
(ウ)医療型児童発達支援センター	延 2,050人	(1日平均 8.4人)
(エ)短期入所	延 1,189人	(1日平均 0.5人)
(オ)生活介護	延 1,159人	(1日平均 4.8人)
(カ)外来患者数	延 12,435人	(1日平均 51.1人)

③ 医療社会活動

活動内容	日数	県市町村	派遣人員
療育相談 (保健所)	16	2	16
在宅重度身体障害者訪問診査 (市町村)	4	5	10
小・中学校脊椎側弯症等運動器 学校検診 (八戸市)	28	1	28
合 計	48	8	54



夏まつり 平成30年8月7日



クリスマス会 平成30年12月19日

8. 医療事業

(1) 八戸赤十字病院

八戸赤十字病院は、地域住民の生命と健康を守るため、赤十字の理念に基づいた信頼される病院づくりに努め、中核病院として質の高い医療や救急医療、災害救護に取り組んでいる。近年、大規模かつ頻発化している自然災害はもちろん、大規模交通災害に対する救護体制も平時より整えている。平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震では、発災当日に当院救護班が被災地に向けて出発、9月20日には「こころのケア班」も派遣した。

平成30年度は、バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）のアウトブレイクの対応に追われた年となった。国立感染症研究所や岩手医科大学付属病院感染症対策室等の外部機関の助言を受けながら感染拡大防止対策を進めてきたが、年度内終息には至らず、平成31年4月よりVRE専用病床を設置することとなった。

また、平成31年3月18日には、災害派遣医療チーム（DMAT）の育成や院内設備、業務継続計画の整備など計画的に準備を進めてきたことで、長年にわたる懸案事項であった地域災害拠点病院の指定を受けることができた。今後も災害時における医療体制の充実に努めていく必要がある。

近年の医療は「医療機能の分化・強化、連携」が推進されていることから、地域医療支援病院である八戸赤十字病院では、紹介患者に対する専門的診療により診療単価は増加してきているが、外来・入院ともに患者数が減少しており、経営面において大きな影響を与えている。また、「働き方改革の推進」による労働環境の改善という課題もあり、更なる経営面への影響も危惧されるところである。地域医療支援病院、地域災害拠点病院としての役割を果たすために、これまで以上に医療体制の充実強化と経営基盤の強化に取り組んでいかなければならぬ。

① 許可病床数及び入院基本料

一般病床	374床	一般病棟入院基本料	7 : 1
精神病床	60床	精神病棟入院基本料	10 : 1
		計	434床

② 診療科目（標榜診療科）

消化器内科、糖尿病代謝内科、循環器内科、呼吸器内科、血液内科、精神科、神経内科、小児科、外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、病理診断科、歯科、歯科口腔外科

③ 年間取扱患者数

ア. 入院患者 117,991人（一日平均 323.3人 前年度比△15.2人）
イ. 外来患者 160,814人（一日平均 661.8人 前年度比△53.3人）

④ 病院における医療社会活動

一般診療の他に、年間に院内外において行った医療社会活動の状況は、次表のとおりであった。

平成30年度活動	開催日数	開催箇所数	対象者数	従事者数		
				職 員	その他の従事者	計
母 親 学 級	43	1	393	82	0	82
栄 養 相 談	339(回)	1	2,313	793	0	793
各 種 檢 診	49	3	3,243	49	0	49
患 者 慰 安	2	1	20	8	0	8
健 康 生 活 支 援 講 習 会	2	2	30	2	0	2
A E D 短 期 講 習 会	3	1	10	3	0	3
訪 問 看 護	0	0	0	0	0	0
育 児 相 談	50	1	979	242	0	242
保 健 指 導	20	1	175	20	0	20

9. 血 液 事 業

青森県赤十字血液センターでは本社事業運営の基本方針に則り「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」及び関係法令を遵守し、採血事業者及び医薬品販売業者としての責務である血液製剤の安全性の確保・向上及び安定供給の確保並びに献血者の保護に努め確実な事業を遂行している。

平成30年度においても年間を通じ、医療機関の需要に見合った血液を安定的に確保するとともに、少子高齢化に伴い献血可能人口が減少する中、将来にわたり血液製剤を安定供給する体制に向けた対策を継続して実施してきた。10代から30代の若年層に対しては、国が策定する中期目標「献血2020」を踏まえ、全国で効果のあった具体的な増加策を取り入れる等、大学生・高校生に対して献血者の増加につながる積極的な取り組みを展開した。

平成30年度の献血受け入れ計画は県内医療機関で使用する輸血用血液の需要予測に基づき、必要とする血液製剤を過不足なく安定的に供給するため献血者数46,267人、目標量19,707.8Lと目標設定した。

これらの目標量を確保するため、当センターでは成分献血及び400mL献血の推進に主眼をおき、地方公共団体等の協力のもと、献血者の年齢層に応じた献血推進はもとより、幼少期を含めた若年層、企業や団体等を普及啓発の対象として効果的な活動や重点的な献血者募集を実施するとともに、複数回献血者の一層の増加を図り、更には健康的な高年齢層献血者の受け入れを積極的に実施した。

具体的には各種キャンペーンの展開、献血セミナーの実施、広報媒体及び学生献血ボランティア等の活用、新規事業所の開拓等を行い、献血者の確保に努めた。

青森県赤十字血液センターは、血液法の理念である、より安全な血液製剤をより安定的に医療機関へ供給する体制を目指して、より一層の努力を続けていかなければならないと考えている。

平成30年度事業概要

(1) 献血状況

献血者数は44,964人で、前年度に比較すると923人の増となり、対前年比では102.1%となった。(29年度の献血者は44,041人)

献血量は18,315.9Lで、前年度に比較すると797.7Lの増となり、対前年比では104.6%となった。(29年度の献血量は17,518.2L)

(2) 供給状況

医療機関（病院等）への血液製剤供給本数は、200mL換算で182,799単位となり、前年度に比較すると2,050単位の増、対前年比では101.1%となった。(29年度の供給本数は180,749単位)

(3) 平成30年度 月・施設別献血状況

① 平成30年度月別施設別献血状況 (4~3月)

単位：人

		30年4月	30年5月	30年6月	30年7月	30年8月	30年9月	30年10月	30年11月	30年12月	31年1月	31年2月	31年3月	合計
	目標	2,087	2,111	2,082	2,131	2,091	2,012	2,222	2,119	2,254	2,065	1,961	2,165	25,300
青森 バス	200 mL	40	12	38	174	23	87	165	79	81	38	25	26	788
	400 mL	1,360	1,429	1,198	1,241	1,461	1,179	1,208	1,402	1,311	1,355	1,176	1,299	15,619
	計	1,400	1,441	1,236	1,415	1,484	1,266	1,373	1,481	1,392	1,393	1,201	1,325	16,407
	確保量 (L)	552	574	487	531	589	489	516	577	541	550	475	525	6,405
	稼働日数	35	38	33	36	35	33	37	36	38	35	33	38	427
	一台平均	40.0	37.9	37.5	39.3	42.4	38.4	37.1	41.1	36.6	39.8	36.4	34.9	38.4
八戸 バス	200 mL	6	15	34	100	11	56	83	38	83	10	11	3	450
	400 mL	827	723	697	632	818	648	703	704	701	801	778	718	8,750
	計	833	738	731	732	829	704	786	742	784	811	789	721	9,200
	確保量 (L)	332	292	286	273	329	270	298	289	297	322	313	288	3,590
	稼働日数	16	16	15	16	16	15	16	16	17	16	16	16	191
	一台平均	52.1	46.1	48.7	45.8	51.8	46.9	49.1	46.4	46.1	50.7	49.3	45	48.2
全血 バス合計	200 mL	46	27	72	274	34	143	248	117	164	48	36	29	1,238
	400 mL	2,187	2,152	1,895	1,873	2,279	1,827	1,911	2,106	2,012	2,156	1,954	2,017	24,369
	計	2,233	2,179	1,967	2,147	2,313	1,970	2,159	2,223	2,176	2,204	1,990	2,046	25,607
	確保量 (L)	884.0	866.2	772.4	804.0	918.4	759.4	814.0	865.8	837.6	872.0	788.8	812.6	9,995.2
	稼働日数	51	54	48	52	51	48	53	52	55	51	49	54	618
	一台平均	43.8	40.4	41.0	41.3	45.4	41.0	40.7	42.8	39.6	43.2	40.6	37.9	41.4
青森 ルーム	目標	859	872	855	844	864	851	856	861	874	847	810	866	10,259
	200 mL	25	15	8	27	24	32	30	20	17	14	51	45	308
	400 mL	335	297	247	299	305	326	313	342	377	287	378	322	3,828
	血漿	146	161	194	207	188	214	185	161	244	257	272	294	2,523
	血小板	257	290	293	297	306	296	272	275	248	193	168	209	3,104
	計	763	763	742	830	823	868	800	798	886	751	869	870	9,763
弘前 ルーム	確保量 (L)	327.9	333.1	329.4	362.3	358.7	377.2	346.3	345.3	387.8	332.8	372.8	378.7	3,969.8
	稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	30	30	28	31	363
	一日平均	25.4	24.6	24.7	26.8	26.5	28.9	25.8	26.6	29.5	25.0	31.0	28.1	26.9
	目標	889	913	891	889	919	889	905	882	905	890	821	915	10,708
	200 mL	22	27	25	39	41	35	31	28	29	18	51	45	391
	400 mL	289	297	299	311	306	279	288	331	350	260	365	364	3,739
合 計	血漿	112	158	198	171	162	159	147	142	230	278	266	315	2,338
	血小板	290	262	291	269	305	300	336	298	239	191	160	185	3,126
	計	713	744	813	790	814	773	802	799	848	747	842	909	9,594
	確保量 (L)	306.9	321.3	354.7	338.9	349.1	333.4	346.5	343.4	368.4	332.4	361.0	395.1	3,876.3
	稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	30	30	28	31	363
	一日平均	23.8	24.0	27.1	25.5	26.3	25.8	25.9	26.6	28.3	24.9	30.1	29.3	26.4
合 計	目標	3,835	3,896	3,828	3,864	3,874	3,752	3,983	3,862	4,033	3,802	3,592	3,946	46,267
	200 mL	93	69	105	340	99	210	309	165	210	80	138	119	1,937
	400 mL	2,811	2,746	2,441	2,483	2,890	2,432	2,512	2,779	2,739	2,703	2,697	2,703	31,936
	血漿	258	319	392	378	350	373	332	303	474	535	538	609	4,861
	血小板	547	552	584	566	611	596	608	573	487	384	328	394	6,230
	計	3,709	3,686	3,522	3,767	3,950	3,611	3,761	3,820	3,910	3,702	3,701	3,825	44,964
	確保量 (L)	1,518.7	1,520.6	1,456.6	1,505.3	1,626.3	1,469.9	1,506.8	1,554.5	1,593.8	1,537.2	1,522.6	1,586.4	18,315.9
	稼働日数	111	116	108	114	113	108	115	112	115	111	105	116	1,344
	一日平均	33.4	31.8	32.6	33.0	35.0	33.4	32.7	34.1	34.0	33.4	35.2	33.0	33.5
	初回献血者数(人)	364	330	343	508	278	387	464	333	337	275	308	266	4,193
	再来献血者数(人)	3,345	3,356	3,179	3,259	3,672	3,224	3,297	3,487	3,573	3,427	3,393	3,559	40,771
	初回献血率(%)	9.8	9.0	9.7	13.5	7.0	10.7	12.3	8.7	8.6	7.4	8.3	7.0	9.3

② 年齢別献血者数推移調

区分	28年度			29年度			30年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
16 ~ 19 才	1,765	1,766	3,531	1,910	1,797	3,707	2,044	1,952	3,996
20 ~ 29	4,694	2,756	7,450	4,145	2,250	6,395	4,100	2,334	6,434
30 ~ 39	6,642	2,794	9,436	5,649	2,490	8,139	5,530	2,298	7,828
40 ~ 49	10,109	3,476	13,585	8,706	3,190	11,896	8,483	3,189	11,672
50 ~ 59	8,149	2,804	10,953	7,467	2,720	10,187	7,975	2,807	10,782
60 ~ 69	3,232	872	4,104	2,852	865	3,717	3,245	1,007	4,252
計	34,591	14,468	49,059	30,729	13,312	44,041	31,377	13,587	44,964

③ 年齢別献血者構成比率及び前年度比調

区分	構成比率	前年比	前年増減
16 ~ 19 才	8.9 %	107.8 %	289 人
20 ~ 29	14.3	100.6	39
30 ~ 39	17.4	96.2	▲ 311
40 ~ 49	26.0	98.1	▲ 224
50 ~ 59	24.0	105.8	595
60 ~ 69	9.5	114.4	535
計	100.00	102.1	923

④ 職業別献血者推移調

区分	28年度			29年度			30年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
公務員	8,153	1,404	9,557	7,380	1,209	8,589	7,629	1,334	8,963
会社員	18,139	5,217	23,356	15,805	4,809	20,614	16,212	4,818	21,030
高校生	894	1,147	2,041	1,050	1,171	2,221	1,257	1,282	2,539
その他学生	1,556	1,342	2,898	1,501	1,317	2,818	1,394	1,493	2,887
その他	5,849	5,358	11,207	4,993	4,806	9,799	4,885	4,660	9,545
計	34,591	14,468	49,059	30,729	13,312	44,041	31,377	13,587	44,964

(4) 平成29・30年度月別血液供給数

(200mL換算)

月区分	平成29年度 県内供給数	平成30年度 県内供給数
4月	14,340	13,691
5月	14,392	14,873
6月	14,390	16,649
7月	14,203	16,638
8月	13,900	16,922
9月	14,133	14,339
10月	15,779	15,610
11月	14,727	14,369
12月	15,740	16,190
1月	17,230	15,205
2月	15,894	14,184
3月	16,021	14,129
合計	180,749	182,799

※200mL換算とは、200mL献血から分離されたを赤血球1単位、血漿を1単位(120mL)、400mLから分離された赤血球を2単位・血漿を2単位(240mL)、血漿成分献血を4単位(480mL)、血小板成分献血を5～20単位として計算したものである。



(5) 多回数献血者の表彰

◎献血回数 100回以上

<金色有功章>

市町村	人 数
青森市	17
弘前市	10
八戸市	4
黒石市	2
五所川原市	2
十和田市	1
三沢市	2
平川市	3
平内町	1
大鰐町	1
六ヶ所村	2
南部町	1
階上町	1
計	47

◎献血回数 70回以上

<銀色有功章>

市町村	人 数
青森市	18
弘前市	21
八戸市	9
黒石市	3
五所川原市	1
十和田市	2
三沢市	4
むつ市	9
つがる市	1
平川市	2
板柳町	2
鶴田町	3
中泊町	1
七戸町	3
六戸町	1
おいらせ町	4
横浜町	1
大間町	1
五戸町	1
西目屋村	1
東通村	2
計	90



10. 活動資金の募集状況並びに会員（社員）の現況

平成30年度の会員（社員）増強・活動資金増収運動は、「赤十字を支えるあなたの“ちから”」をスローガンに掲げ、県民に対する赤十字への理解浸透を図り、次のとおり展開した。

（1）平成30年度目標額

① 目標額 216,000,000円

（内訳）

地区分区目標額 202,980,000円

支部目標額 13,020,000円

② 運動の時期

平成30年2月1日から同月28日までを「運動強調月間」とし、通年募集した。

（2）会員（社員）増強・活動資金増収運動にかかる主な強化策

① 町内会役員などを対象とした活動資金募集の理解促進

青少年赤十字事業の趣旨や成果を知ることで、活動資金の募集を担う町内会役員など、理解促進を図るために実施した。

（平成30年度開催地区）

地 区	開催期日	場 所	人 数	内 容
東青地区	12月21日	青森市福祉増進センター・しあわせプラザ	36	（活動事例発表） 県立青森中央高等学校 3年 神山 優紀

② 新しい活動資金募集の展開

口座引落しやクレジットカードにより活動資金協力をを行う口座振替会員、遺産相続に伴い活動資金協力をを行う遺贈の募集強化のほか、企業によるCSR（企業の社会貢献）活動の推進や法人会員への訪問募集など、新しい活動資金募集活動の強化を図った。

（新しい活動資金募集にかかる平成30年度の実績については、（5）会員（社員）増強・活動資金増収運動の重点活動項目の推移についての⑤法人会員（社員）の確保・増進、（6）口座振替会員（社員）の推移について、（8）支部直轄扱いの推移についてを参照）

③ 社員制度の見直しにかかる周知

日本赤十字社定款の改正（平成29年4月1日施行）に伴う「社員制度の見直し」について、平成30年度活動資金の募集に際し、毎戸チラシにより各地域において会員・活動資金の募集を担う町内会役員等をはじめ、県民への周知を図った。

（3）平成30年度会員（社員）増強・活動資金増収運動の状況について

① 募集実績額

平成30年度の募集実績額は前年度比9.25%の増となった。主なる増収の要因としては、日本赤十字社青森県支部創立130周年を記念して9月12日に開催した「青森県赤十字大会」の効果が挙げられる。

区 分	目 標 額 (円)	実 績 額 (円)	達成率 (%)
総 額	216,000,000	198,874,948	92.07
内 訳	地区分区目標額	202,980,000	154,820,493
	支 部 目 標 額	13,020,000	44,054,455
			338.36

② 平成30年度会員（社員）増強・活動資金増収運動の実績表

区分 地区・分区别		A目標額(円)	B実績額(円)	B/A(%)	区分 地区・分区别		A目標額(円)	B実績額(円)	B/A(%)	
市 地 区	青森市	42,798,000	25,365,379	59.27	南 地区	藤崎町	2,234,000	2,160,920	96.73	
	旧青森市	39,987,000	22,945,969	57.38		大鰐町	2,013,000	1,409,100	70.00	
	旧浪岡町	2,811,000	2,419,410	86.07		田舎館村	1,234,000	1,621,080	131.37	
	弘前市	25,997,000	13,263,660	51.02		計	5,481,000	5,191,100	94.71	
	八戸市	33,941,000	21,148,640	62.31		鶴田町	2,228,000	1,983,700	89.04	
	黒石市	5,151,000	3,386,061	65.74		中泊町	2,262,000	1,940,600	85.79	
	五所川原市	8,561,000	6,217,500	72.63		旧中里町	1,616,000	1,110,300	68.71	
	旧五所川原市	6,384,000	4,426,700	69.34		旧小泊村	646,000	830,300	128.53	
	旧金木町	1,703,000	1,261,200	74.06		計	4,490,000	3,924,300	87.40	
	旧市浦村	474,000	529,600	111.73	上 北 地 区	野辺地町	2,363,000	1,843,700	78.02	
	十和田市	9,336,000	8,963,400	96.01		七戸町	2,674,000	2,740,500	102.49	
	三沢市	5,761,000	3,874,128	67.25		旧七戸町	1,516,000	1,280,500	84.47	
	むつ市	9,619,000	6,516,050	67.74		旧天間林村	1,158,000	1,460,000	126.08	
	旧むつ市	6,632,000	4,437,250	66.91		六戸町	1,401,000	2,010,800	143.53	
	旧川内町	973,000	677,300	69.61		横浜町	822,000	853,500	103.83	
	旧大畠町	1,580,000	998,500	63.20		東北町	2,795,000	2,605,700	93.23	
	旧脇野沢	434,000	403,000	92.86		六ヶ所村	1,680,000	1,439,600	85.69	
	つがる市	5,786,000	5,829,944	100.76		計	11,735,000	11,493,800	97.94	
	平川市	4,886,000	6,187,031	126.63	下 北 地 区	大間町	1,020,000	670,000	65.69	
東 地 区	旧尾上町	1,339,000	1,682,881	125.68		東通村	1,214,000	1,156,200	95.24	
	旧平賀町	3,013,000	4,048,650	134.37		風間浦村	465,000	607,500	130.65	
	旧碇ヶ関村	534,000	455,500	85.30		佐井村	501,000	537,750	107.34	
				計	3,200,000	2,971,450	92.86			
	計	151,836,000	100,751,793	66.36	三 戸 地 区	三戸町	1,902,000	2,305,200	121.20	
西 地 区	平内町	2,314,000	3,274,000	141.49		五戸町	2,930,000	3,970,700	135.52	
	今別町	764,000	785,300	102.79		田子町	1,049,000	1,030,200	98.21	
	蓬田村	508,000	838,000	164.96		南部町	3,161,000	3,672,550	116.18	
	外ヶ浜町	1,474,000	1,507,100	102.25		階上町	2,062,000	3,150,800	152.80	
	計	5,060,000	6,404,400	126.57		新郷村	434,000	612,500	141.13	
中 地 区	鰺ヶ沢町	2,088,000	2,159,100	103.41		おいらせ町	2,912,000	3,295,500	113.17	
	深浦町	1,903,000	1,584,900	83.28		計	14,450,000	18,037,450	124.83	
	計	3,991,000	3,744,000	93.81	市 町 村	直轄扱	13,020,000	44,054,455	338.36	
中 地 区	西目屋村	315,000	320,000	101.59		合計	151,836,000	100,751,793	66.36	
	板柳町	2,422,000	1,982,200	81.84		町村合計	51,144,000	54,068,700	105.72	
	計	2,737,000	2,302,200	84.11		市町村合計	202,980,000	154,820,493	76.27	
							合計	216,000,000	198,874,948	92.07

※日赤本社が募集を行っている口座振替等の実績は支部直轄扱に含む

③ 平成30年度 地区分別活動資金達成状況

達成率区分	市地区	東地区	西北地区	中南地区	上北地区	下北地区	三戸地区	合計	前年度との比較
150%以上		蓬田村					階上町	2	1
140%以上 150%未満		平内町			六戸町		新郷村	3	1
130%以上 140%未満				田舎館村		風間浦村	五戸町	3	1
120%以上 130%未満	平川市						三戸町	2	-1
110%以上 120%未満							南部町 おいらせ町	2	-1
100%以上 110%未満	つがる市 五所川原市市浦	今別町 外ヶ浜町	鰺ヶ沢町	西目屋村	七戸町 横浜町	佐井村		9	-2
計	3	4	1	2	3	2	6	21	-1
90%以上 100%未満	十和田市 むつ市脇野沢			藤崎町	東北町	東通村	田子町	6	1
80%以上 90%未満	青森市浪岡		深浦町 鶴田町 中泊町	板柳町	六ヶ所村			6	0
70%以上 80%未満	五所川原市金木			大鰐町	野辺地町			3	-2
60%以上 70%未満	八戸市 黒石市 五所川原市 三沢市 むつ市 むつ市川内 むつ市大畠					大間町		8	2
60%未満	青森市 弘前市							2	0
計	13	0	3	3	3	2	1	25	1

※各市町村の達成率は、本社取扱いの口座振替分（クレジットカード含む）を除いた実績額にもとづくものである。

(4) 平成30年度活動資金実績額の対前年度比較表

地区・分区别	区分	平成30年度		A / B 目標額達成率	C 29年度実績額(円)	B - C 対前年度 比較増減額(円)	対前年度実績率	
		A 目標額(円)	B 実績額(円)				C / B 達成率	増減率
市地区	青森市	39,987,000	22,945,969	57.38%	23,664,677	-718,708	96.96%	-3.04%
	青森市浪岡	2,811,000	2,419,410	86.07%	2,505,025	-85,615	96.58%	-3.42%
	弘前市	25,997,000	13,263,660	51.02%	12,951,690	311,970	102.41%	2.41%
	八戸市	33,051,000	20,121,340	60.88%	20,792,192	-670,852	96.77%	-3.23%
	八戸市南郷	890,000	1,027,300	115.43%	1,033,600	-6,300	99.39%	-0.61%
	黒石市	5,151,000	3,386,061	65.74%	3,417,500	-31,439	99.08%	-0.92%
	五所川原市	6,384,000	4,426,700	69.34%	4,653,140	-226,440	95.13%	-4.87%
	五所川原市金木	1,703,000	1,261,200	74.06%	1,272,300	-11,100	99.13%	-0.87%
	五所川原市市浦	474,000	529,600	111.73%	554,600	-25,000	95.49%	-4.51%
	十和田市	9,336,000	8,963,400	96.01%	7,589,900	1,373,500	118.10%	18.10%
	三沢市	5,761,000	3,874,128	67.25%	3,987,959	-113,831	97.15%	-2.85%
	むつ市	6,632,000	4,437,250	66.91%	4,276,050	161,200	103.77%	3.77%
	むつ市川内	973,000	677,300	69.61%	729,500	-52,200	92.84%	-7.16%
	むつ市大畑	1,580,000	998,500	63.20%	1,029,000	-30,500	97.04%	-2.96%
	むつ市脇野沢	434,000	403,000	92.86%	423,800	-20,800	95.09%	-4.91%
	つがる市	5,786,000	5,829,944	100.76%	6,296,994	-467,050	92.58%	-7.42%
	平川市	4,886,000	6,187,031	126.63%	6,247,000	-59,969	99.04%	-0.96%
	計	151,836,000	100,751,793	66.36%	101,424,927	-673,134	99.34%	-0.66%
東地区	平内町	2,314,000	3,274,000	141.49%	2,342,800	931,200	139.75%	39.75%
	今別町	764,000	785,300	102.79%	801,950	-16,650	97.92%	-2.08%
	蓬田村	508,000	838,000	164.96%	836,000	2,000	100.24%	0.24%
	外ヶ浜町	1,474,000	1,507,100	102.25%	1,589,000	-81,900	94.85%	-5.15%
	計	5,060,000	6,404,400	126.57%	5,569,750	834,650	114.99%	14.99%
西地区	鰺ヶ沢町	2,088,000	2,159,100	103.41%	2,097,900	61,200	102.92%	2.92%
	深浦町	1,903,000	1,584,900	83.28%	1,647,100	-62,200	96.22%	-3.78%
	計	3,991,000	3,744,000	93.81%	3,745,000	-1,000	99.97%	-0.03%
中地区	西目屋村	315,000	320,000	101.59%	336,500	-16,500	95.10%	-4.90%
	板柳町	2,422,000	1,982,200	81.84%	2,009,400	-27,200	98.65%	-1.35%
	計	2,737,000	2,302,200	84.11%	2,345,900	-43,700	98.14%	-1.86%
南地区	藤崎町	2,234,000	2,160,920	96.73%	2,259,214	-98,294	95.65%	-4.35%
	大鰐町	2,013,000	1,409,100	70.00%	1,469,300	-60,200	95.90%	-4.10%
	田舎館村	1,234,000	1,621,080	131.37%	1,625,500	-4,420	99.73%	-0.27%
	計	5,481,000	5,191,100	94.71%	5,354,014	-162,914	96.96%	-3.04%
北地区	鶴田町	2,228,000	1,983,700	89.04%	2,024,700	-41,000	97.98%	-2.02%
	中泊町	2,262,000	1,940,600	85.79%	2,002,850	-62,250	96.89%	-3.11%
	計	4,490,000	3,924,300	87.40%	4,027,550	-103,250	97.44%	-2.56%
上北地区	野辺地町	2,363,000	1,843,700	78.02%	1,844,500	-800	99.96%	-0.04%
	七戸町	2,674,000	2,740,500	102.49%	2,859,551	-119,051	95.84%	-4.16%
	六戸町	1,401,000	2,010,800	143.53%	1,990,900	19,900	101.00%	1.00%
	横浜町	822,000	853,500	103.83%	868,000	-14,500	98.33%	-1.67%
	東北町	2,795,000	2,605,700	93.23%	2,653,300	-47,600	98.21%	-1.79%
	六ヶ所村	1,680,000	1,439,600	85.69%	1,460,400	-20,800	98.58%	-1.42%
	計	11,735,000	11,493,800	97.94%	11,676,651	-182,851	98.43%	-1.57%
下北地区	大間町	1,020,000	670,000	65.69%	702,900	-32,900	95.32%	-4.68%
	東通村	1,214,000	1,156,200	95.24%	1,186,000	-29,800	97.49%	-2.51%
	風間浦村	465,000	607,500	130.65%	461,500	146,000	131.64%	31.64%
	佐井村	501,000	537,750	107.34%	568,500	-30,750	94.59%	-5.41%
	計	3,200,000	2,971,450	92.86%	2,918,900	52,550	101.80%	1.80%
三戸地区	三戸町	1,902,000	2,305,200	121.20%	2,256,800	48,400	102.14%	2.14%
	五戸町	2,930,000	3,970,700	135.52%	4,036,500	-65,800	98.37%	-1.63%
	田子町	1,049,000	1,030,200	98.21%	1,059,700	-29,500	97.22%	-2.78%
	南部町	3,161,000	3,672,550	116.18%	3,869,850	-197,300	94.90%	-5.10%
	階上町	2,062,000	3,150,800	152.80%	2,212,100	938,700	142.43%	42.43%
	新郷村	434,000	612,500	141.13%	633,000	-20,500	96.76%	-3.24%
	おいらせ町	2,912,000	3,295,500	113.17%	3,539,610	-244,110	93.10%	-6.90%
	計	14,450,000	18,037,450	124.83%	17,607,560	429,890	102.44%	2.44%
支部直轄		13,020,000	44,054,455	338.36%	27,364,175	16,690,280	160.99%	60.99%
市 計		151,836,000	100,751,793	66.36%	101,424,927	-673,134	99.34%	-0.66%
町 村 合 計		51,144,000	54,068,700	105.72%	53,245,325	823,375	101.55%	1.55%
市町村合計		202,980,000	154,820,493	76.27%	154,670,252	150,241	100.10%	0.10%
合 計		216,000,000	198,874,948	92.07%	182,034,427	16,840,521	109.25%	9.25%

(4) 活動資金の推移について

目標額対比並びに対前年度比の3ヵ年の活動資金実績の推移は次のとおりである。

① 対目標額

(単位：円)

年 度	目 標 額	実 績 額	目 標 額 対 比	
			増 減 額	率 (%)
平成28年度	216,000,000	193,196,192	▲ 22,803,808	89.44
平成29年度		182,034,427	▲ 33,965,573	84.28
平成30年度		198,874,948	▲ 17,125,052	92.07

② 対前年度実績額

(単位：円)

年 度	実 績 額	前 年 度 対 比	
		増 減 額	増 減 率 (%)
平成28年度	193,196,192	▲ 2,987,137	▲ 1.52
平成29年度	182,034,427	▲ 11,161,765	▲ 5.78
平成30年度	198,874,948	16,840,521	9.25

(5) 会員（社員）増強・活動資金増収運動の重点活動項目の推移について

会員（社員）増強・活動資金増収運動において、当支部が定める重点活動項目の推移は次のとおりである。

① 繼続納入の促進（地区・分区募集分）

(単位：件)

年 度	協力者数 (a)	新規加入 (b)	脱退等 (c)	継続協力 (a)-(b)-(c)	前年度対比	
					増減数	増減率 (%)
平成28年度	221,129	8,011	12,216	200,902	▲ 2,317	▲ 1.14
平成29年度	215,859	7,805	12,354	195,700	▲ 5,202	▲ 2.59
平成30年度	277,079	7,280	13,551	256,248	60,548	30.94

② 新規会員（社員）の確保・増進（地区・分区募集分）

(単位：人)

年 度	新規加入 (a)	脱退等 (b)	増減 (a)-(b)
平成28年度	8,011	12,216	▲ 4,205
平成29年度	7,805	12,354	▲ 4,549
平成30年度	7,280	13,551	▲ 6,271

③ 会員（特別社員）の確保・増進（地区・分区募集分）

（単位：人）

年 度	普通社員	特別社員	増 減	
			普通社員	特別社員
平成28年度	144,328	76,801	372	▲ 4,398
平成29年度	143,486	72,373	▲ 842	▲ 4,428
平成30年度	274,098	2,981	130,612	▲ 69,392

※平成30年度は、日本赤十字社定款の改正（平成29年4月1日施行）に伴う「社員制度の見直し」による募集実施 「普通社員」→「協力会員」、「特別社員」→「会員」へ名称変更。

④ 有功章社員の確保・増進（支部募集分、地区・分区募集分）

（単位：件）

年 度	銀色有功章	金色有功章
平成28年度	19	15
平成29年度	26	6
平成30年度	22	22

⑤ 法人会員（社員）の確保・増進（支部募集分、地区・分区募集分）

年 度	募 集 状 況				
	募集数（件）	協力法人（件）	協力率（%）	実績額（円）	増減率（%）
平成28年度	2,710	407	15.02	14,630,969	6.93
平成29年度	2,652	407	15.35	17,748,995	21.31
平成30年度	2,758	361	13.09	29,119,010	64.06

（6） 口座振替会員（社員）の確保

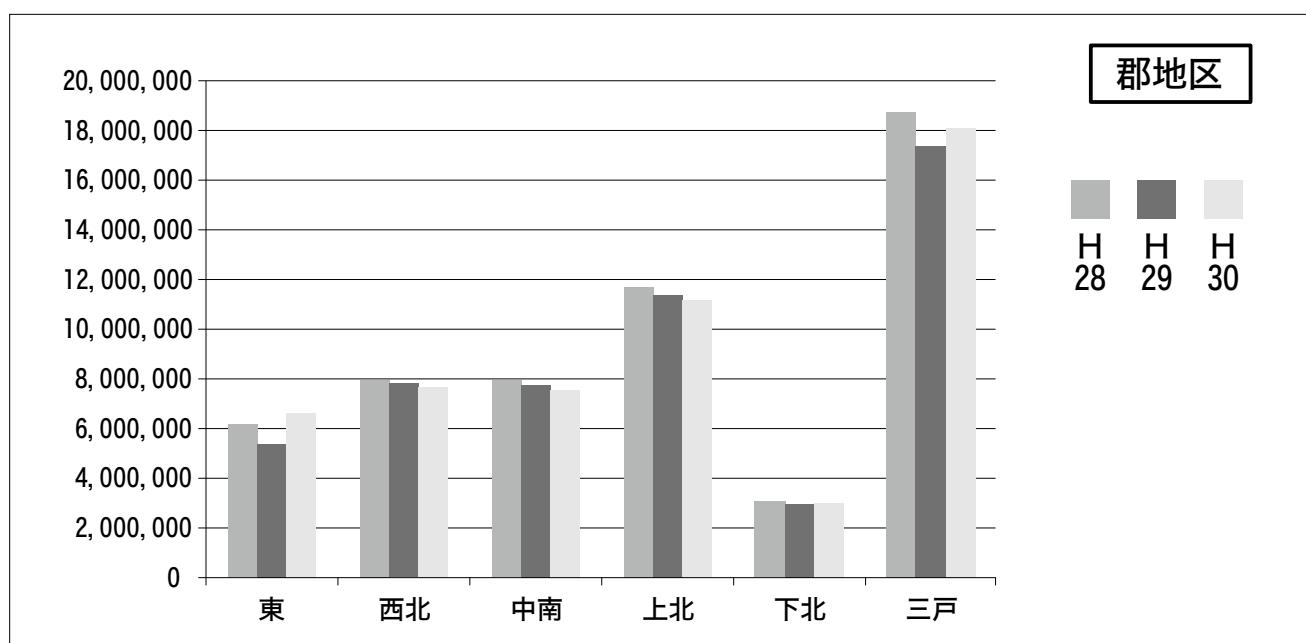
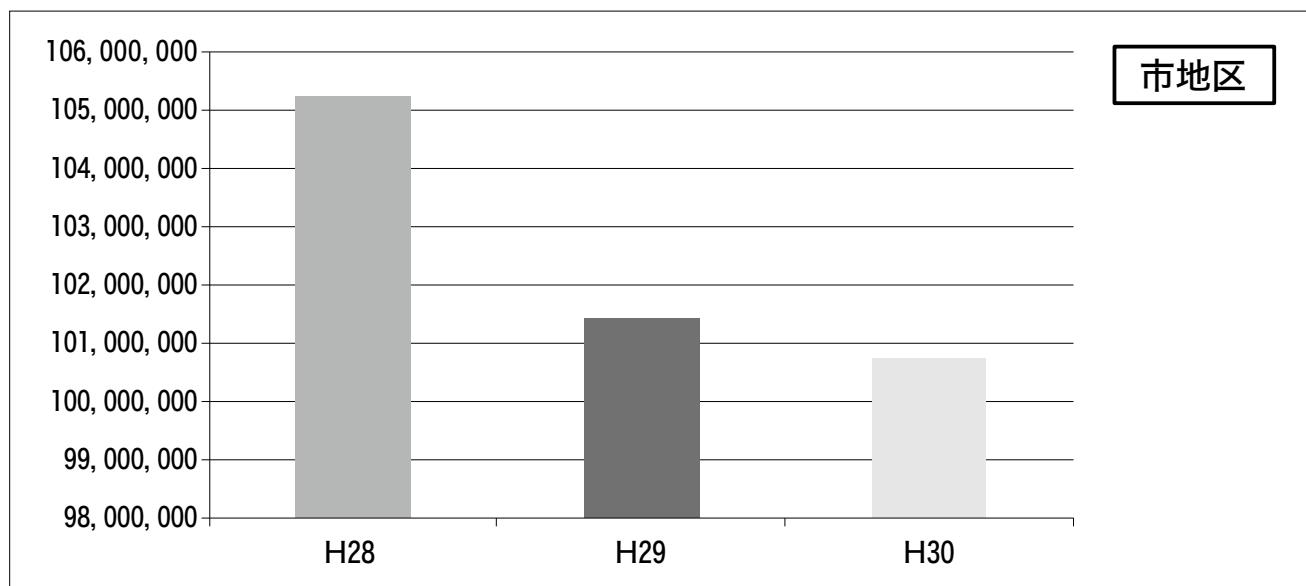
平成18年度より、日赤本社が募集を行っている「口座振替会員（社員）」の加入状況並びに実績額の3ヵ年の推移は次のとおりである。

年 度	実績額（単位：円）	件数（単位：件）		摘要
		増減率（%）	増減率（%）	
平成28年度	2,558,500	▲ 0.96	505	▲ 3.26 口座引落、クレジットカード決済
平成29年度	2,345,000	▲ 8.34	508	0.59 ※実績額は、当該社員在住の市地区・町村分区の実績として、事業費・事務費交付金を郡・市地区、町村分区に交付しているもの
平成30年度	2,543,000	8.44	485	▲ 4.53

(7) 郡市地区別の推移について

郡市地区別の3ヵ年の推移は次のとおりである。

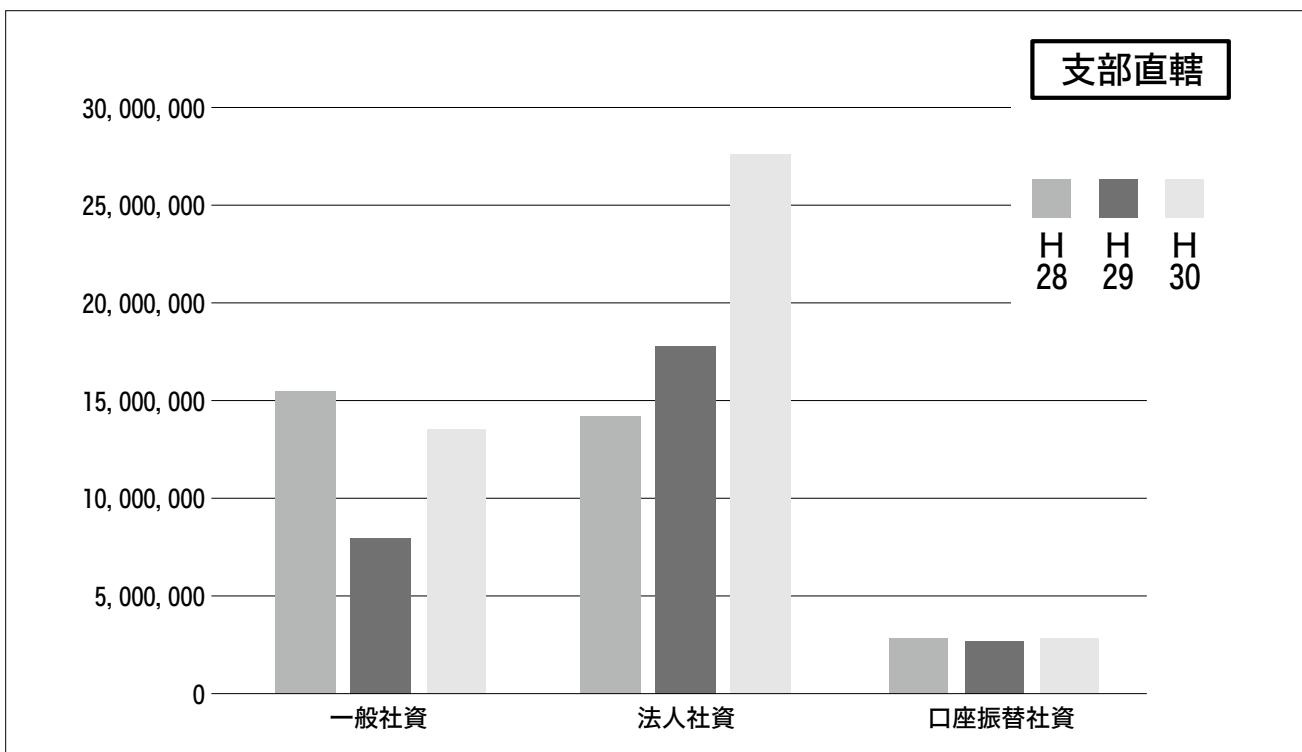
全 県				(単位：円)
地区名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備 考
市	105,293,387	101,424,927	100,751,793	
東	6,122,500	5,569,750	6,404,400	
西 北	7,975,650	7,772,550	7,668,300	
中 南	7,896,663	7,699,914	7,493,300	
上 北	11,897,400	11,676,651	11,493,800	
下 北	3,169,500	2,918,900	2,971,450	
三 戸	18,617,310	17,607,560	18,037,450	
支 部	32,223,782	27,364,175	44,054,455	
計	193,196,192	182,034,427	198,874,948	



(8) 支部直轄扱いの推移について

支部直轄扱い実績の3ヵ年の推移は次のとおりである。

支部直轄				(単位：円)
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
一般社資	15,534,313	7,770,180	13,892,445	
法人社資	14,130,969	17,248,995	27,619,010	
口座振替社資	2,558,500	2,345,000	2,543,000	支部募集分含む
計	32,223,782	27,364,175	44,054,455	



11. 赤十字思想の普及と広報活動

(1) 全国赤十字大会

赤十字運動月間にあたり、会員の増強と赤十字思想の普及を図り、一層の社業進展を期するため、以下のとおり全国赤十字大会が開催された。

期　　日　5月16日

場　　所　東京都「明治神宮会館」

参加者数　約1,900名

支部参加者　11名

参加者は下表のとおり（順不同）

氏　名	役職名等	氏　名	役職名等
新　宅　清　司	日赤青森県支部監査委員	五十嵐　敬　昌	赤十字奉仕団指導講師
樋　口　秀　視	日赤佐井村分区長	四　木　博　之	県高文連青少年赤十字部長
工　藤　順　巳	青森県赤十字有功会長	紺　野　広	八戸赤十字病院副院長
地代所　久　恭	青森県赤十字有功会員	近　藤　宏	日赤青森県支部事務局長
地代所　令　子	青森県赤十字有功会員	小笠原　麻　美	同　組織振興課主事
松　本　美　義	青森県赤十字有功会員		

(2) 青森県支部創立130周年記念青森県赤十字大会

日本赤十字社名誉副総裁秋篠宮妃殿下のご臨席を仰ぎ、「日本赤十字社青森県支部創立130周年記念青森県赤十字大会」を開催し、当支部に対して活動資金の支援や赤十字活動に顕著な功績があった個人・企業・団体などに日本赤十字社の表彰規則にもとづく有功章等が授与された。

また、県内のボランティアや青少年赤十字メンバーを代表して、赤十字奉仕団や青少年赤十字の体験発表が行われた。

期　日　9月12日

場　所　青森市「リンクステーションホール青森」

参加者数　約800名

有功章御授与者　　日本赤十字社名誉副総裁　秋篠宮妃殿下

日本赤十字社社長感謝状贈呈者　日本赤十字社副社長　大塚　義治

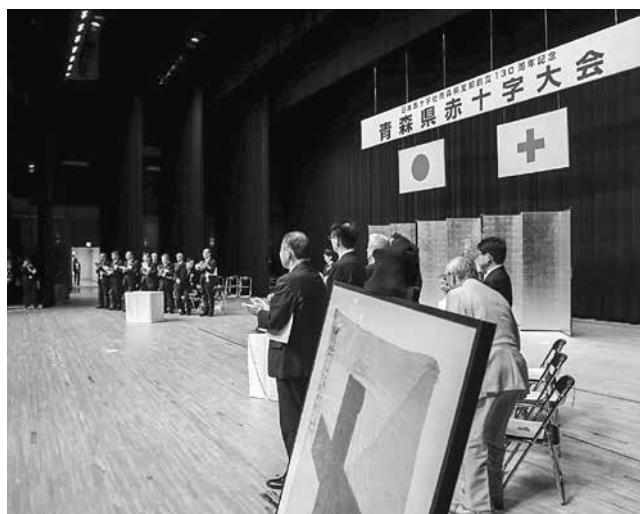
体験発表者

十和田市赤十字奉仕団　委員長　福村　トクエ

五所川原商業高等学校　青少年赤十字メンバー　笛森　風花

受章者件数 338個人・企業・団体

功労区分		表彰区分	金色有功章	銀色有功章	社長感謝状	計
社 資 功 勞	個人	17	4	7	28	
	法人・団体	7	11	16	34	
計		24	15	23	62	
業 務 功 勞	役職名誉職	12	43	3	58	
	協賛委員	5	42	8	55	
	奉仕者	23	44	17	84	
	奉仕団	2	1	23	26	
	青少年赤十字指導者	2	0	1	3	
	青少年赤十字加盟校	8	3	39	50	
計		52	133	91	276	
合 計		76	148	114	338	



青森県赤十字大会式典の様子



体験発表する十和田市赤十字奉仕団 委員長 福村トクエさん



体験発表する五所川原商業高等学校
青少年赤十字メンバー 笹森風花さん



式典終了後に行われた記念アトラクションで「青をつないで」を
披露する桜田マコトさんたち

(3) 広報活動の実施状況について

① 会員、活動資金の募集運動用資材の作成と配付

1) 広報チラシ

作成数：480,000枚

仕様：A4、両面カラー印刷

活用内容：世帯配付、「道の駅」等市町村主要施設に設置

2) 広報ポスター

作成数：5,000枚

仕様：B3、カラー印刷

活用内容：市町村主要施設等に掲出

3) 奉仕者用てびき

作成数：21,000部

仕様：A5、4色、20頁

活用内容：自治会役員等奉仕者に配付

4) 奉仕者用協力依頼状（白封筒付き）

作成数：12,000枚

仕様：A4、三つ折、2色刷り

活用内容：自治会役員等奉仕者に配付

5) 会員加入・寄付申込書（兼領収書控）

作成数：96,000枚（384,000人分）

仕様：B4、両面2色刷り

活用内容：会員の加入、活動資金の納付

② 資材による広報活動

1) リーフレット「赤十字の使命と活動2018」（日赤本社作成）

活用内容：個人・法人有功章社員等の募集、イベント等での配付

2) 2018広報ポスター（日赤本社作成）

活用内容：イベント等での掲出

3) 赤十字新聞「赤十字NEWS」（日赤本社作成）

発行回数：毎月発行

発行数：1回につき2,000部

活用内容：奉仕団、青少年赤十字加盟校等関係者・関係団体に配付

※2千円以上の支援を行う会員に対し、第1回目の情報提供として「赤十字NEWS」7月号（日本赤十字社の平成29年度決算報告掲載号）を送付（7月下旬）

4) 支部報「日赤あおもり」（日赤県支部作成）

発行回数：季刊発行（年4回）

発行数：1回につき1,000部

活用内容：奉仕団、青少年赤十字加盟校等関係者・関係団体に配付

③ メディア等による広報活動

1) 新聞広告の掲載

平成31年3月11日「東日本大震災から8年」企画特集で事業紹介記事の掲載と会員、活動資金の募集広告を掲載

2) マスメディア、市町村広報紙における記事の掲載

テレビ・新聞等マスメディアへの取材依頼と市町村広報紙への記事の寄稿依頼

3) ホームページの運用

赤十字活動の紹介のほか、活動資金の募集、赤十字ボランティアの加入の方法などを広報展開

④ イベントによる広報活動

1) 赤十字ふれあい推進事業の実施

地区分区が各自治体等で開催するイベントで、赤十字活動の広報展開を行った。

《平成30年度実施状況》

市地区：五所川原市金木、十和田市、つがる市、むつ市大畠

町村分区：外ヶ浜町、七戸町、横浜町、東北町、階上町、新郷村、おいらせ町

(計11地区・分区)

2) 防災・減災プロジェクト～私たちは、忘れない。～

今年度は、「在宅避難」に焦点をあて、今後予想される首都直下地震・南海トラフ地震等においても大多数が在宅避難を強いられるとの見地から、「備え」を啓発するため、関係機関と協力し、パネルやポスター掲示、リーフレットを配布した。

開催期間：平成31年3月1日～31日

開催場所：日本赤十字社青森県支部、地区分区、NHK青森放送局、青森地方気象台、青森海上保安部、八戸海上保安部など

12. 青森県赤十字有功会

青森県赤十字有功会は、昭和55年5月24日、県内在住の有功章社員の参加を求めて結成され、以来、会員相互の『親睦と奉仕』を合言葉に『人道・博愛』を使命とする赤十字事業を支援し続け、平成30年5月、39年目を迎えた。

平成31年3月31日現在、会員数は、429名となっている。

(1) 有功会員による仲間づくり運動の推進

会員の募集した実績		会員の寄付協力実績		合 計	
件 数	金額(円)	件 数	金額(円)	件 数	金額(円)
8	2,090,000	40	14,533,643	48	16,623,643

(2) 青森県赤十字有功会・会員数調

(平成31年3月31日 現在)

市郡別	区 分		金 色 有 功 章		銀 色 有 功 章		計
	個 人	法 人	個 人	法 人			
青 森 市	5 3	3 5	2 9	5	1 2 2		
弘 前 市	1 6	1 8	1 4	2	5 0		
八 戸 市	3 2	3 4	1 5	4	8 5		
黒 石 市	0	1	1	0	2		
五 所 川 原 市	5	0	3	2	1 0		
十 和 田 市	1 2	6	6	2	2 6		
三 沢 市	5	2	5	1	1 3		
む つ 市	1 0	4	7	0	2 1		
つ が る 市	2	1	3	0	6		
平 川 市	0	0	0	0	0		
小 計	1 3 5	1 0 1	8 3	1 6	3 3 5		
東 津 軽 郡	7	2	5	5	1 9		
西 津 軽 郡	2	2	1	2	7		
中 津 軽 郡	1	0	0	0	1		
南 津 軽 郡	4	0	3	0	7		
北 津 軽 郡	4	0	1	1	6		
上 北 郡	9	6	9	3	2 7		
下 北 郡	2	3	2	0	7		
三 戸 郡	1 6	1	3	0	2 0		
小 計	4 5	1 4	2 4	1 1	9 4		
合 計	1 8 0	1 1 5	1 0 7	2 7	4 2 9		

※会員総数 429 (内訳) 個人 287名
法人 142社

(3) 青森県赤十字大会開催にかかる日本赤十字社 名誉副総裁 御歓迎昼食会

青森県支部創立130周年記念青森県赤十字大会にご臨席の名誉副総裁 秋篠宮妃殿下をお迎えして御歓迎昼食会を開催した。

期 日 9月12日

場 所 青森市「ホテル青森 孔雀の間」

参加者数 183名 (うち会員98名)

(4) 青森県赤十字有功会主要事業報告

項目	概要		
①有功会員による仲間づくり運動の推進	平成30年度協力分	新規有功章等募集 8件 2,090,000円 会員による寄付金 40件 14,533,643円 計48件 16,623,643円	平成31年3月31日現在 個人・法人会員数 429 (前年度 451)
②地区赤十字有功会への活動の助成	4月27日	弘前市赤十字有功会へ 43,000円 むつ市赤十字有功会へ 26,000円 平内町赤十字有功会へ 20,000円 蓬田村赤十字有功会へ 20,000円 計 109,000円	
③有功会報の発行	8月1日	第73号発行	全会員と関係方面へ配付
④各種義援金等寄託	7月4日 7月6日 7月10日 9月13日 9月13日 12月1日	平成30年大阪北部地震災害 平成30年米原市竜巻災害 平成30年7月豪雨災害 2018年インドネシア・ロンボク島災害 北海道胆振東部地震災害 NHK海外たすけあい	(各10,000円) 計 60,000円
⑤青少年・こども赤十字活動支援	3月25日	青少年こども赤十字活動用記念品贈呈 赤十字ロゴ入りミニタオル 赤十字ロゴ入りクリアファイル	500枚 250枚
⑥各種行事等 ・監査 ・第55回役員会	5月23日 〃	平成29年度事業並びに会計収支監査 1. 平成29年度事業報告並びに収支決算について 2. 平成30年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について	於：日赤県支部（青森市） 〃
・平成30年度通常総会	6月27日	1. 平成29年度事業報告並びに収支決算について 2. 平成30年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について 事業報告 『皇后さま最後の全国赤十字大会』上映 懇親パーティー	於：青森国際ホテル（青森市） ・総会：50名出席 ・パーティー：42名出席
・地区有功会総会	6月5日 7月3日 7月26日	むつ市赤十字有功会総会へ出席 弘前市赤十字有功会総会へ出席 蓬田村赤十字有功会総会へ出席	於：プラザホテルむつ（むつ市） 於：弘前パークホテル（弘前市） 於：よもぎ温泉（蓬田村）
・青森県支部創立130周年記念日本赤十字社名誉副総裁秋篠宮妃殿下御歓迎昼食会	9月12日	参加者183名（内会員98名）	於：ホテル青森（青森市）
・日赤紺綏・有功会会長協議会総会	10月4日～5日	工藤会長、事務局員出席	於：ホテルメトロポリタン秋田（秋田県）
・新年祝賀会員互礼会	1月7日 8日 9日 10日	青森会場 会員38名 来賓他5名 弘前会場 会員20名 来賓他4名 八戸会場 会員16名 来賓他4名 むつ会場 会員7名 来賓他12名 計 会員81名 来賓他25名	於：青森国際ホテル（青森市） 於：ホテルニューキャッスル（弘前市） 於：八戸プラザホテル（八戸市） 於：はねやホテル（むつ市）

13. 評議員会及び監査

平成30年度における評議員会及び監査の開催状況は次のとおりである。

(1) 評議員会

① 第156回支部評議員会

開催年月日 6月12日

開催場所 日本赤十字社青森県支部 大会議室

出席状況 評議員 25名

三村申吾支部長／工藤順巳副支部長／藤野満監査委員／新宅清司監査委員
／原功監査委員

議長 三村支部長

審議議案

1. 平成29年度 日本赤十字社青森県支部 事業報告及び一般会計歳入歳出決算
2. 平成29年度 はまなす医療療育センター 事業報告及び社会福祉施設特別会計歳入歳出決算
3. 平成29年度 八戸赤十字病院 事業報告及び医療施設特別会計歳入歳出決算
4. 平成29年度 八戸赤十字病院 医療施設特別会計歳入歳出補正予算（案）
5. 任期満了に伴う支部長の選出

報告

1. 平成29年度 青森県赤十字血液センター 事業報告
2. 青森県赤十字大会について
3. 監事・監査委員監査規則の制定について

② 第157回支部評議員会

開催年月日 2月12日

開催場所 日本赤十字社青森県支部 大会議室

出席状況 評議員 27名

青山祐治副支部長／工藤順巳副支部長／藤野満監査委員／原功監査委員

議長 青山副支部長

審議議案

1. 平成31年度 日本赤十字社青森県支部 事業計画及び一般会計歳入歳出予算（案）
2. 平成31年度 はまなす医療療育センター 事業計画及び社会福祉施設特別会計歳入歳出予算（案）
3. 平成31年度 八戸赤十字病院 事業計画及び医療施設特別会計歳入歳出予算（案）
4. 平成30年度 日本赤十字社青森県支部 一般会計歳入歳出補正予算（案）
5. 平成30年度 はまなす医療療育センター 社会福祉施設特別会計歳入歳出補正予算（案）
6. 平成30年度 八戸赤十字病院 医療施設特別会計歳入歳出補正予算（案）
7. 任期満了に伴う代議員の選出

報告

平成31年度 青森県赤十字血液センター事業計画（案）

(2) 監査

① 平成29年度決算監査

施設名	実施年月日	監査員
日本赤十字社青森県支部	5月15日	藤野監査委員 新宅監査委員 原監査委員
青森県赤十字血液センター	5月15日	
八戸赤十字病院	5月24日・25日	
青森県立はまなす医療療育センター	5月25日	

② 平成30年度指導監査

施設名	実施年月日	監査員
日本赤十字社青森県支部	11月8日	藤野満税理士事務所 所長 藤野 満
八戸赤十字病院	11月14日・15日	

14. 平成30年度一般会計・特別会計決算報告

(1) 一般会計

事 業 費 目	金 額 (円)
支 部 収 入	
社 資 収 入	199,115,948
委 託 金 等 収 入	1,704,492
補 助 金 及 び 交 付 金 収 入	529,680
繰 入 金 収 入	11,138,256
資 産 収 入	11,168,363
雜 収 入	2,607,061
前 年 度 繰 越 金	8,464,591
取 入 合 計	234,728,391

事 業 費 目	金 額 (円)
支 部 費	
災害救助活動及び救護資材の整備	10,271,850
赤十字看護師の養成費	2,075,280
献血普及・管下施設の指導	166,112
救急法・健康生活支援講習等普及	4,239,922
赤十字奉仕団の普及と育成強化	5,560,626
青少年赤十字の普及と育成強化	6,149,383
社会福祉活動	80,440
国際救援活動と国際開発協力事業	1,208,000
地区・分区の運営	17,840,088
赤十字社員の整備と増強	19,685,408
赤十字思想の普及と広報活動	6,545,833
本社の活動推進	29,171,242
施設繰り出し・補助金	2,563,760
資金積立	0
支 部 の 運 営 管 理	118,254,366
支 出 合 計	223,812,310

取 入 支 出 差 引 額 (翌 年 度 繰 越)	10,916,081
-----------------------------	------------

(2) 社会福祉施設特別会計

取入の部	金額(円)
受託事業収入	797,496,593
その他の収入	52,703
他会計繰入金収入	663,760
その他の活動による収入	95,685,517
前期末支払資金残高	1,709,114
収入合計	895,607,687

支出の部	金額(円)
人件費支出	687,400,205
事業費支出	96,384,048
事務費支出	79,653,366
その他の活動による支出	32,170,068
支出合計	895,607,687

収入支出差引額	0
---------	---

(3) 医療施設特別会計

① 収益的収入及び支出

事 業 費 目	金 額 (円)
取 入	
医 業 収 益	10,215,290,726
医 業 外 収 益	210,122,486
医 療 社 会 事 業 収 益	300,000
付 帯 事 業 収 益	0
特 別 利 益	1,682,490
計	10,427,395,702
事 業 費 目	金 額 (円)
支 出	
医 業 費 用	10,584,828,996
医 業 外 費 用	247,720,420
医 療 奉 仕 費 用	33,278,045
付 帯 事 業 費 用	0
特 別 損 失	3,700,091
法 人 税 等	6,511,918
計	10,876,039,470
取 入 支 出 差 引 額	-448,643,768

② 資本的収入及び支出

事 業 費 目	金 額 (円)
取 入	
固 定 負 債	773,263,306
資 産 売 却 収 益	0
そ の 他 資 本 収 入	472,940,564
計	1,246,203,870
事 業 費 目	金 額 (円)
支 出	
固 定 資 産	779,930,534
借 入 金 等 償 還	466,273,336
計	1,246,203,870
取 入 支 出 差 引 額	0

15. 支部役員・評議員

(1) 支部役員・本社役員

役職名	氏名	公職等
支部長	三村申吾	青森県知事
副支部長	青山祐治	青森県副知事
同	小林眞	八戸市長
同	工藤順巳	協同組合日専連弘前会顧問
監査委員	藤野満	税理士
同	新宅清司	元弘前市社会福祉協議会専務理事
同	原功	元五所川原市役所職員
本社理事	高橋博美	三沢市シルバー人材センター理事長
本社代議員	高橋博美	三沢市シルバー人材センター理事長
同	村井達	八戸赤十字病院運営審議会会长
同	木明昭一郎	野辺地地区保護司会会长

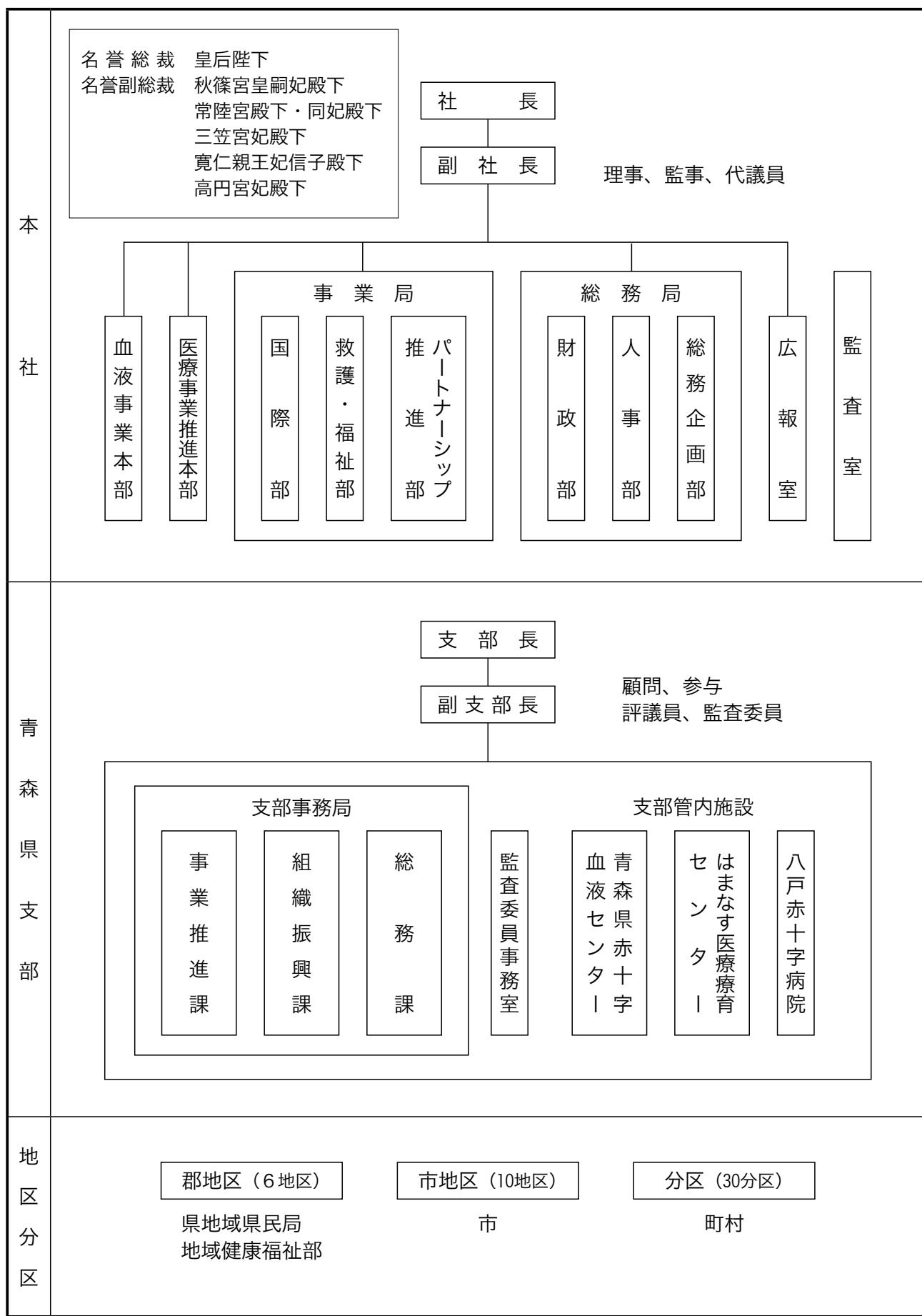
(2) 評議員（選出区分）※任期：平成31年2月14日～令和4年2月13日

加川史（青森市地区）	田中武（東津軽区）
倉内一長（青森市地区）	新保なり子（西北地区）
鶴賀晃（青森市地区）	宮本はる枝（西北地区）
高橋文雄（弘前市地区）	前山誠一（中南地区）
小柳紀八郎（弘前市地区）	須藤尚人（中南地区）
黒澤徹（八戸市地区）	木明昭一郎（上北地区）
日沢忠道（八戸市地区）	新館なみゑ（上北地区）
高渕壽男（八戸市地区）	奥本征雄（下北地区）
谷清道（黒石市地区）	照井良清（三戸地区）
小関光雄（五所川原市地区）	山内良子（三戸地区）
澤橋勇（十和田市地区）	村井達（支部長）
高橋博美（三沢市地区）	樋口秀視（支部長）
高野敏昭（むつ市地区）	柳谷章二（支部長）
鶴賀善宏（つがる市地区）	丹藤節治（支部長）
大里あさ（平川市地区）	三浦博英（支部長）

（定数30名）

赤十字の組織と機構

(平成31年4月1日 現在)



※名誉総裁、名誉副総裁は、令和元年5月1日現在

日本赤十字社青森県支部現勢

1. 沿革

明治20年(1887)12月28日 日本赤十字社青森県委員部設立
明治28年(1895)12月28日 日本赤十字社青森支部に改称
昭和27年(1952)10月 日本赤十字社青森県支部に改称

2. 赤十字会員数

個人 3,163人／法人 361人

3. 評議員

30人

4. 役員

支 部 長 三村 申吾
副 支 部 長 青山 祐治、小林 真、工藤 順巳
本 社 理 事 高橋 博美
本 社 代 議 員 高橋 博美、村井 達、木明昭一郎
支 部 監 査 委 員 藤野 満、新宅 清司、原 功

5. 赤十字奉仕団

区 分	団 数	登 錄 数
地 域	47団	8,512人
青 年	3団	118人
特 殊	10団	732人
合 計	60団	9,362人

6. 青少年赤十字

区 分	加盟登録数	登録人数
幼稚園・保育園	214園	12,754人
小 学 校	115校	17,210人
中 学 校	61校	9,837人
高 等 学 校	57校	1,285人
特別支援学校	4校	65人
合 計	451校	41,151人

指導者数5,171人

7. 青森県赤十字有功会員

個人 287名／法人 142社・団体

8. 講習普及活動

区 分	講習回数	受講者数	指導員数
救 急 法	124回	4,229人	81人
水 上 安 全 法	34回	1,660人	33人
健康生活支援講習	0回	0人	5人
幼 児 安 全 法	3回	61人	11人
合 計	161回	5,950人	130人

※指導員養成講習を除く

9. 國際活動

- ・第1ブロック支部共同事業
カンボジア救急法普及支援事業
ミャンマー救急法普及支援事業
東ティモール救急法普及支援事業
ネパール、バヌアツ青少年赤十字支援事業
- ・NHK海外たすけあいキャンペーン
- ・国際活動体験ツアー in Aomori

10. 災害等救護

救 護 班	8班	56名
無 線 局	基地局	6／移動局 39
救 援 車 輛		4台
受 付 義 援 金 (※)	614件	19,488,754円
配 付 救 援 物 資 (※)	毛 布	185枚
	緊急セット	90個

11. 医療施設

八戸赤十字病院 病床総数 434床(一般374床、精神60床)

総患者数 (※)	一日平均患者数 (※)	
入院患者	323.3人	外来患者
117,991人		661.8人
168,814人		

12. 血液事業

青森県赤十字血液センター

施設数	車両台数	
血液センター	1	献血バス
献血ルーム	2	献血運搬車
献血者数 (※)		供給本数 (※)
血漿成分	4,861人	全血製剤
血小板成分	6,230人	赤血球製剤
400ml	31,936人	血漿製剤
200ml	1,937人	血小板製剤
合 計	44,964人	合 計
		182,799本

13. 肢体不自由児施設

青森県立はまなす医療療育センター

医療型障害児入所施設・療養介護事業	医療型児童発達支援センター	
肢 体 不 自 由	42床	障害児(通所)
重症心身障害	40床	40名

14. 施設及び職員数

区 分	職 員 数
支 部	11人
八 戸 赤 十 字 病 院	508人
青森県赤十字血液センター	66人
はまなす医療療育センター	78人
合 計	663人

・嘱託、臨時職員等除く

15. 会計 (平成31年度当初予算)

: 千円

一般会計	歳 入	歳 出
支 部	247,200	247,200
社会福祉施設特別会計	歳 入	歳 出
はまなす医療療育センター	881,943	881,708
医療事業特別会計	収益的収入	収益的支出
八 戸 赤 十 字 病 院	10,567,932	10,918,520

・特に断りのない統計数字等は、平成31年4月1日現在。

※は平成30年度分。

日本赤十字社青森県支部管下施設一覧

施設名	住所	TEL・FAX
八戸赤十字病院	〒039-1104 八戸市大字田面木字中明戸2	TEL 0178-27-3111 FAX 0178-27-3121
日本赤十字社青森県支部受託 青森県立はまなす医療療育センター	〒031-0833 八戸市大字大久保字大塚17-729	TEL 0178-31-5005 FAX 0178-31-4144
青森県赤十字血液センター	〒030-0966 青森市花園2-19-11	TEL 017-741-1511 FAX 017-741-1517

平成30年度 事業年報

日本赤十字社青森県支部

〒030-0861

青森市長島一丁目3番1号

TEL 017-722-2011

FAX 017-735-3502
